

2016年度
事業報告書

感謝と絆

～思いやりで彩る、魅力あふれる人と街へ～

公益社団法人 十和田青年会議所



2016年度
第60代理事長

水 尻 和 幸

スローガン

感謝と絆

～思いやりで彩る、魅力あふれる人と街へ～

基本理念

愛しい子ども達とこの街のために、
感謝のこころとつながりの大切さを胸に抱き、
誇りをもって行動しよう！
美しくあたたかい夢と希望のあかりを灯せば
明るい未来への道が見えてくる！

基本方針

- ・ 60周年記念事業
- ・ 地域文化振興の為の事業
- ・ 青少年育成事業
- ・ 人材育成事業
- ・ 地域社会発展の為の事業
- ・ 会員拡大事業

～ 目 次 ～

• 2016年度事業報告書	04
• 2016年度 理事会開催報告	09
• 月別活動報告（1月～12月）	13
• 諸団体出向一覧表	20
• 公益社団法人 十和田青年会議所2016年度組織図	21
• 卒業生挨拶	22
• 挨拶	25
理事長、直前理事長、専務理事、副理事長、委員長、出向理事	

※別紙（予算書）参照

2016年度事業報告

【庶務】2016年12月31日現在

1) 会員・正会員	44名	賛助会員	1名	特別会員	186名		
2) 役員・理事長	1名	直前理事長	1名	副理事長	4名		
専務理事	1名	委員長	5名	事務局長	1名	出向理事	2名
理事総数	15名						

【第7回定時総会】

◎平成28年2月29日（月）富士屋グランドホールに於いて次の事項を可決した。

《議案》

- 第1号議案 2015年度事業報告承認の件
- 第2号議案 2015年度補正予算（案）承認の件
- 第3号議案 2015年度収支決算報告承認の件
- 第4号議案 2015年度監査報告の件
- 第5号議案 2016年度監事選任の件
- 第6号議案 2016年度監事報酬の件
- 第7号議案 2016年度理事者承認の件

【臨時総会】

◎平成28年7月15日（金）十和田富士屋ホテル太素の間Aに於いて次の事項を可決した。

《議案》

- 第1号議案 2017年度理事長候補者選任（案）承認の件

【第8回定時総会】

◎平成28年12月15日（木）富士屋グランドホールに於いて次の事項を可決した。

《議案》

- 第1号議案 2017年度 基本計画（案）承認の件
- 第2号議案 2017年度 収支予算（案）承認の件

【褒章選考】

- 100%例会出席賞：国分聡、笹淵峰尚、中野隆生
- 最優秀新人賞：石川隆大
- 優秀JC賞：中野隆生
- 最優秀委員会賞：お祭り委員会
- 最優秀JC賞：宮内拓也

【理事長特別賞】

- 理事長特別賞：太田格道、国分聡、力石優、千葉千絵

1 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
1	9	18:00	プラザマリユウ五所川原	五所川原JC2016年度新年祝賀会	水尻・国分
1	10	16:00	八戸プラザホテル	八戸JC2016年度新年会	蛭沢・水尻・高橋・小関 国分・石川・宮内
1	14	18:00	むつグランドホテル	むつJC1月定時総会新年祝賀会	笹淵・齊下・田中(泰)
1	16	18:30	ホテル青森	青森JC新年祝賀会	蛭沢・水尻・小関 中谷・阿部・石川
1	19	18:00	グリーンパレス松安閣	黒石JC新年祝賀会	蛭沢
1	22~24	11:00	国立京都国際会館	京都会議	水尻・蛭沢・小関・国分
1	25	18:00	きざん三沢	三沢JC新年会	メンバー 12名
1	30	9:00	八戸プラザホテル	青森ブロック協議会第1回会員会議所会議	メンバー 3名
1	30	13:00	八戸プラザホテル	アカデミー大学開校式	メンバー 13名
1	30	15:30	八戸プラザホテル	会員拡大セミナー	メンバー 13名
1	30	18:00	八戸プラザホテル	新春名刺交歓会	メンバー 14名

【LOM関係】

1	8	18:00	商工会館5F	1月定例理事会	
1	15	18:00	富士屋グランドホール	特部会員総会・1月例会・新年祝賀会	メンバー 32名 OB21名

【対外団体】

1	4	18:00	サンロイヤルとわだ	十和田市新年祝賀会	蛭沢・水尻・太田・小関 国分・杉沢・田中(泰)
1	6	18:00	文化センター	B-1グランプリ in 十和田実行委員会解団式	蛭沢・水尻・太田 小関・丸井・杉沢
1	7	18:00	サンロイヤルとわだ	第5回B-1グランプリ in 十和田実行委員会	水尻
1	12	18:00	イーグルボウル	北里大学生との交流会	中野・太田・栗山・蛭沢
1	16	18:00	十和田市民文化センター	青少年十和田市民会議 構成団体等合同研修会・懇親会	水尻
1	20	18:00	サンロイヤルとわだ	十和田地区交通安全協会 合同新年会	笹淵

2 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
2	7	10:00	青森市新町 バサージュ広場前	北方領土の日記念街頭署名活動	水尻・小関
2	27	13:00	十和田市東公民館	青森ブロック協議会第2回会員会議所会議	水尻・蛭沢・国分 オブザーバー 6名

【LOM関係】

2	3	10:00	十和田湖休屋	十和田湖冬物語2016 雪像制作	メンバー 8名
2	9	19:00	商工会館5F	2月定例理事会	メンバー 14名
2	29	18:00	富士屋グランドホール	2月例会第7回定時総会	メンバー 32名 OB7名

【対外団体】

2	3	18:30	商工会議所 1F	第28回とわだ雪見ラリー	メンバー 15名
2	5	18:30	十和田湖冬物語 特設イベント会場	十和田湖冬物語2016 オープニングセレモニー	水尻
2	12	13:30	十和田市第一中学校	十和田市第一中学校 2学年 立志式	水尻
2	26	19:00	八戸 JC 事務局	第1回南部州デザイン会議	水尻・蛭沢・舛舘

3 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
3	26	13:00	東京ビックサイト	公益社団法人日本青年会議所第151回総会	水尻
【LOM関係】					
3	8	19:00	商工会館5F	3月定例理事会	メンバー 14名
3	18	18:30	富士屋グランドホール	3月例会 青年交流会	メンバー 26名 オブザーバー 18名
【対外団体】					
3	10	10:00	十和田市民文化センター	北里大学学位記授与式	水尻
3	15	16:00	サン・ロイヤルとわだ	十和田市観光協会 平成27年度第2回理事会	水尻
3	29	15:00	十和田交通会館	十和田地区・市交通安全協会 合同役員会	水尻
3	31	19:00	三沢 JC 事務局	第2回南部州デザイン会議	小関

4 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
4	2	14:00	大湊 安渡館	青森ブロック協議会第3回会員会議所会議	水尻・蛭沢・国分
4	8	19:00	八戸プラザホテル	あっぱれ新東北3つの夢成就祝賀パーティー	水尻・蛭沢・国分 太田・小関
4	21	19:00	八戸市公会堂大ホール	八戸 JC4 月公開例会「東国原英夫氏講演会」	メンバー 9 名
4	26	19:00	二戸パークホテル	第3回南部州デザイン会議	メンバー 2 名
4	30	13:00	弘前市民会館	第4回会員会議所会議	水尻・蛭沢・国分
【LOM関係】					
4	7	19:00	商工会館5F	4月定例理事会	メンバー 10 名
4	15	18:00	十和田市民文化センター	4月例会 人材育成セミナー	メンバー 28 名 一般 65 名
4	24	9:00	十和田市労働基準局前	十和田 JC PR 事業	メンバー 17 名

【対外団体】

4	5	14:00	十和田市民文化センター	十和田地区交通安全総決起大会	水尻
4	6	15:00	商工会館4F	十和田市観光協会 第2回観光行事部会	中谷
4	21	13:30	商工会館1F	平成28年度道路使用関係イベント会議	水尻
4	23	7:50	桜の広場	第22回青森県春のクリーン作戦	水尻・舛舘
4	23	10:00	十和田市民文化センター	北里大学創立50周年記念式典 記念特別講演会	水尻
4	27	13:30	JA十和田おいらせ本店	平成28年度十和田市町内会連合会 定例総会	水尻

5 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
5	28	13:00	黒石市富士見館	青森ブロック協議会第5回会員会議所会議	太田・蛭沢・国分
【LOM関係】					
5	12	19:00	商工会館5F	5月定例理事会	メンバー 12 名
5	15	8:00	東公民館	5月例会 職業体験学習	メンバー 24 名 親子参加 45 組

【対外団体】

5	4	17:00	太素塚境内	祝158年記念太素祭式典	水尻
5	16	14:00	サンロイヤルとわだ	平成28年度十和田市交通安全協会 理事会	水尻
5	16	14:00	商工会館4F	十和田市観光協会 第2回観光部会	水尻
5	16	14:30	サンロイヤルとわだ	平成28年度十和田市交通安全協会 定時総会	水尻
5	23	15:00	富士屋グランドホール	十和田市観光協会 平成28年度第1回理事会	水尻
5	23	16:00	富士屋グランドホール	十和田市観光協会 平成28年度第1回通常総会	水尻
5	24	19:00	久慈市 鮎処 きよ田	第4回南部州デザイン会議	メンバー 2 名
5	25	17:30	富士屋グランドホール	十和田地区交通安全協会 表彰式・評議員会	水尻
5	27	17:00	十和田市現代美術館	シンシアリー・ユアーズ レセプション	水尻

6 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
6	12	16:00	ホテル青森	青森青年会議所創立65周年記念式典・祝賀会	6 人
【LOM関係】					
6	1~4	9:00	十和田市タワーレ展示室	渡部陽一氏写真パネル展示会	メンバー 6 名
6	5	8:45	十和田市民文化センター	6月例会 60周年記念事業 渡部陽一氏講演会	メンバー 29 名 来場者 453 名
6	8	15:00	八戸 JC 事務局	青森ブロック協議会第1回臨時会員会議所会議	水尻・蛭沢
6	9	19:00	商工会館4F	6月定例理事会	メンバー 12 名
6	11~12	9:00	十和田市タワーレ展示室	渡部陽一氏写真パネル展示会	メンバー 6 名 来場者合計 186 名
6	12	9:00	十和田相撲場	第32回わんぱく相撲十和田場所	メンバー 6 名 子供 10 名
6	18	14:00	青森市福祉増進センター	第6回会員会議所会議	水尻・蛭沢・国分
6	19	19:00	ホテル鹿角	第5回南部州デザイン会議	メンバー 3 名
6	20	8:00	みちのく国際 ゴルフ倶楽部	十和田 JC 創立60周年記念 OB 現役合同ゴルフコンペ&交流会	メンバー 6 名 OB 14 名

【対外団体】

6	1	14:00	商工会館5F	平成28年度十和田市中心街地活性化協議会 第1回総会	水尻
6	2	10:00	十和田市総合体育センター	県立施設要望に関する懇談会	水尻
6	28	10:00	商工会館2F	平成28年度第1回 太素顕彰会定期総会	水尻

7 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
---	---	----	-----	-----------	-----

【日本・地区・ブロック】

7	2	9:00	立佞武多の館	青森ブロック協議会第7回会員会議所会議	水尻・蛭沢・国分
7	2	18:30	立佞武多の館	第46回青森ブロック大会 in 奥津軽五所川原 大懇親会	メンバー12名
7	3	13:30	ふるさと交流センター	第47回青森ブロック大会 in 奥津軽五所川原 大会式典	メンバー6名
7	16~17	15:20	パシフィコ横浜	サマーコンファレンス 2016	水尻・小関・国分
7	25	19:00	十和田 トワーレ	第6回南部州デザイン会議	メンバー3名
7	31	9:00	両国国技館	第32回わんぱく相撲十和田場所	メンバー4名 出場者3名

【LOM関係】

7	7	19:00	商工会館5F	7月定例理事会	メンバー13名
7	15	17:30	富士屋ホテル	7月臨時総会	メンバー27名 OB 10名

【対外団体】

7	6	18:30	商工会館1階	第一回十和田七夕ラリー	水尻・小関
7	7	18:00	十和田市民交流プラザ	平成28年度第1回十和田市セーフコミュニティ 領域別対策部会全体会議	似鳥
7	8	15:00	十和田交通会館	十和田地区・市交通安全協会合同役員会	水尻
7	10	6:00	十和田湖休屋	第一回十和田湖ハーフマラソンボランティア	メンバー16名
7	19	14:00	商工会館5F	平成28年度十和田市秋祭り関係者団体 打ち合せ会	水尻

8 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
---	---	----	-----	-----------	-----

【LOM関係】

8	4	19:00	商工会館5F	8月定例理事会	メンバー10名
8	26	18:00	トワーレ	8月例会 JAPAN PRIDEセミナー	メンバー24名 オブザーバー3名

【対外団体】

8	7	8:30	御幸橋下流	第33回奥入瀬川クリーン作戦	メンバー12名
8	25	19:00	三沢市中央院	第7回南部州デザイン会議	メンバー2名
8	29	14:00	十和田市総体センター	県立施設要望に関する第二回懇談会	水尻
8	29	15:00	十和田市交通会館	十和田地区および市交通安全協会 合同役員会	笹淵

9 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
---	---	----	-----	-----------	-----

【日本・地区・ブロック】

9	3~5	10:00	登米市	2016年度東北青年フォーラム in 水の里とめ	水尻・国分・小関・蛭沢
9	24	13:00	十和田商工会館5階	青森ブロック協議会第8回会員会議所会議	水尻・蛭沢・国分
9	25	16:00	ホテルナクアシティ弘前	弘前 JC 創立 65 周年記念式典・祝賀会	メンバー8名

【LOM関係】

9	6	19:00	商工会館4F	9月定例理事会	メンバー13名
9	10	10:00	市役所前	9月例会第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」	メンバー30名 観光客約11万人

【対外団体】

9	20	14:00	十和田市民文化センター	秋の交通安全運動 総決起大会・歩行者等交通安全指導活動	水尻
9	21	19:00	二戸市おぼない旅館	第8回南部州デザイン会議	メンバー2名

10 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
10	7	10:00	広島市	公益社団法人日本青年会議所第 151 回総会	水尻
10	7～9	10:00	広島市	第 65 回全国大会広島大会	水尻・小関・国分・蛭沢 舛舘・笹淵
10	22	9:00	三沢商工会館	青森ブロック協議会第 9 回会員会議所会議	水尻・蛭沢・国分
10	25	19:00	鹿角市ホルモン幸楽	第 9 回南部州デザイン会議	メンバー 3 名
10	29～30	9:00	八戸市長根球場	南部州オータムカップ 2016	メンバー 5 名
【LOM関係】					
10	16	12:00	富士屋グランドホール	10 月例会 60 周年記念式典・祝賀会	メンバー 30 名
10	20	19:30	商工会館 5 階	10 月定例理事会	メンバー 11 名
【対外団体】					
10	20	13:30	十和田合同庁舎	平成 28 年度第 2 回奥入瀬溪流エコツーリズム プロジェクト実行委員会	水尻
10	17	18:00	十和田市民交流プラザ	平成 28 年度第 2 回十和田市セーフコミュニティ 領域別対策部会全体会議	水尻

11 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
11	26	13:30	黒石市西部地区センター	青森ブロック協議会第 10 回会員会議所会議	水尻・蛭沢・国分
11	26	18:00	グリーンパレス松安閣	2016 年度青森ブロック協議会 卒業式	メンバー 5 名
【LOM関係】					
11	10	19:00	十和田市南公民館	2016 年度 LC スクール	メンバー 21 名
11	20	12:00	高森山パークゴルフ場	11 月例会 パークゴルフ親睦交流会	メンバー 13 名
11	24	19:00	商工会館 4 階	11 月定例理事会	メンバー 11 名
11	30	17:30	イーグルボウル	青年交流ボウリング大会	メンバー 15 名
【対外団体】					
11	28	15:00	十和田市 交通会館	十和田地区・市交通安全協会 合同役員会	水尻

12 月 事 業 報 告

月	日	時間	場 所	行 事 / 会 合	人 数
【日本・地区・ブロック】					
12	2	16:30	メトロポリタン盛岡	2016 年度東北地区協議会 卒業式	水尻・小関
12	11	15:30	八戸プラザホテルアーバン	八戸 JC 卒業式	メンバー 8 名
12	21	18:30	きざん三沢	三沢 JC 卒業式	メンバー 10 名
12	23	18:30	ホテルニューキャッスル弘前	清藤洋介君 JCI 副会頭就任を祝う会	水尻・国分
【LOM関係】					
12	15	18:00	富士屋グランドホール	12 月例会第 8 回定時総会・2016 年度卒業式	メンバー 27 名
12	26	19:00	商工会館 5 階	11 月定例理事会	メンバー 13 名
12	28	18:00	八戸市 小船渡	南部州デザイン会議第 23 回通常総会	メンバー 2 名
【対外団体】					
12	5	15:30	AST十和田	サンタでトワイライト作戦	水尻

1月定例理事会 2016年1月8日(金) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 2月例会 第7回定時総会開催(案)について
- 2) 3月例会 会員拡大の為の交流事業(案)について
- 3) 6月例会 60周年記念事業開催(案)
- 4) 通年事業 ホームページの管理更新(案)について

審議事項

- 1) 通年事業 ホームページの管理更新(案)について

2月定例理事会 2016年2月9日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 4月例会 人材育成を目的とするセミナー事業開催(案)について
- 2) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)について
- 3) 5月例会 職業体験事業開催(案)について
- 4) 3月例会 会員拡大の為の交流事業開催(案)について
- 5) 特別会員通信発行(案)について
- 6) 第7回 定時総会開催(案)について
- 7) 第7回 定時総会提出議案 第1号議案 2015年度事業報告(案)について
- 8) 第7回 定時総会提出議案 第2号議案 2015年度補正予算(案)について
- 9) 第7回 定時総会提出議案 第3号議案 2015年度収支決算報告(案)について
- 10) 第7回 定時総会提出議案 第4号議案 2015年度監査報告の件
- 11) 第7回 定時総会提出議案 第5号議案 2016年度監事選任の件
- 12) 第7回 定時総会提出議案 第6号議案 2016年度監事報酬の件
- 13) 第7回 定時総会提出議案 第7号議案 2016年度理事者承認の件
- 14) 米内山和正君 入会(案)について

審議事項

- 1) 4月例会 人材育成を目的とするセミナー事業開催(案) 一部承認の件
- 2) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案) 一部承認の件
- 3) 5月例会 職業体験事業開催(案) 一部承認の件
- 4) 3月例会 会員拡大の為の交流事業開催(案) 一部承認の件
- 5) 第7回 定時総会開催(案) 承認の件
- 6) 第7回 定時総会提出議案 第1号議案 2015年度事業報告(案) 承認の件
- 7) 第7回 定時総会提出議案 第2号議案 2015年度補正予算(案) 承認の件
- 8) 第7回 定時総会提出議案 第3号議案 2015年度収支決算報告(案) 承認の件
- 9) 第7回 定時総会提出議案 第4号議案 2015年度監査報告 承認の件
- 10) 第7回 定時総会提出議案 第5号議案 2016年度監事選任 承認の件
- 11) 第7回 定時総会提出議案 第6号議案 2016年度監事報酬 承認の件
- 12) 第7回 定時総会提出議案 第7号議案 2016年度理事者 承認の件
- 13) 米内山和正君 入会(案) 承認の件

2月臨時理事会 2016年2月29日(木) 19:40～ 富士屋グランドホール2F 平安の間C

協議事項

- 1) 2016年度理事長選任(案)について
- 2) 206年度組織図(案)について

審議事項

- 1) 2016年度理事長選任(案) 承認の件
- 2) 2016年度組織図(案) 承認の件

3月定例理事会 2016年3月8日(火) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)について
- 2) 5月例会 職業体験事業開催(案)について
- 3) 6月例会 60周年記念事業開催(案)について
- 4) 4月例会 人材育成を目的とするセミナー事業開催(案)について
- 5) 3月例会 会員拡大青年交流会開催(案)について
- 6) 2016年度 新年祝賀会収支決算報告(案)について
- 7) 特別会員通信作成(案)について
- 8) 十和田青年会議所PR事業開催(案)について
- 9) 新山優也様仮入会(案)について
- 10) 吹越玲奈様仮入会(案)について
- 11) 公益社団法人日本青年会議所第151回総会出席に伴う理事長の旅費について

審議事項

- 1) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案) 一部承認の件について
- 2) 5月例会 職業体験事業開催(案) 一部承認の件について
- 3) 6月例会 60周年記念事業開催(案) 一部承認の件について
- 4) 4月例会 人材育成を目的とするセミナー事業開催(案) 承認の件について
- 5) 3月例会 会員拡大青年交流会開催(案) 一部承認の件について
- 6) 特別会員通信作成(案) 承認の件について
- 7) 新山優也様仮入会(案) 承認の件について
- 8) 吹越玲奈様仮入会(案) 承認の件について
- 9) 公益社団法人日本青年会議所第151回総会出席に伴う理事長の旅費について

4月定例理事会 2016年4月7日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)について
- 2) 5月例会 職業体験事業開催(案)について
- 3) 6月例会 60周年記念事業開催(案)について
- 4) 拡大交流委員会 わんぱく相撲開催(案)について
- 5) 第7回定時総会収支決算報告書(案)について
- 6) 十和田青年会議所PR事業開催(案)について
- 7) 2016年度 新年祝賀会収支決算報告(案)について
- 8) 新山優也様入会(案)について
- 9) 高松政司様仮入会(案)について

審議事項

- 1) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)部分審議承認の件
- 2) 5月例会 職業体験事業開催(案)承認の件
- 3) 6月例会 60周年記念事業開催(案)部分審議承認の件
- 4) 第7回定時総会収支決算報告書(案)承認の件
- 5) 十和田青年会議所PR事業開催(案)承認の件
- 6) 2016年度 新年祝賀会収支決算報告(案)承認の件
- 7) 新山優也様入会(案)承認の件

5月定例理事会 2016年5月12日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)について
- 2) 6月例会 60周年記念事業開催(案)について
- 3) 拡大交流委員会 わんぱく相撲開催(案)について
- 4) 総務委員会 7月臨時総会(案)について
- 5) 総務委員会 選挙管理委員会設置(案)について
- 6) 人材育成委員会 新入会員を対象とするJCスクール事業(案)について

審議事項

- 1) 6月例会 60周年記念事業開催(案)承認の件
- 2) 拡大交流委員会 わんぱく相撲開催(案)承認の件
- 3) 総務委員会 選挙管理委員会設置(案)承認の件

6月定例理事会 2016年6月9日(木) 19:30～ 十和田商工会館4階会議室

協議事項

- 1) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)について
- 2) 拡大交流委員会 青年交流会収支決算報告(案)について
- 3) 総務委員会 7月臨時総会(案)について
- 4) 選挙管理委員会 2017年度理事長立候補公示(案)について
- 5) 人材育成委員会 新入会員を対象とするJCスクール事業(案)について
- 6) 吹越玲奈君入会(案)について

審議事項

- 1) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)承認の件
- 2) 拡大交流委員会 青年交流会収支決算報告(案)承認の件
- 3) 総務委員会 7月臨時総会(案)承認の件
- 4) 選挙管理委員会 2017年度理事長立候補公示(案)承認の件
- 5) 人材育成委員会 新入会員を対象とするJCスクール事業(案)承認の件
- 6) 吹越玲奈君入会(案)承認の件

7月定例理事会 2016年7月7日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

討議事項

- 1) 60周年記念式典(案)について

協議事項

- 1) 60周年記念誌一部分協議(案)について
- 2) 人材育成委員会 8月例会JCスクール(案)について
- 3) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)について
- 4) 高松政司君入会(案)について

審議事項

- 1) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)一部承認の件
- 2) 人材育成委員会 8月例会JCスクール(案)一部承認の件
- 3) 高松政司君入会(案)承認の件

8月定例理事会 2016年8月4日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 60周年記念誌一部分協議(案)について
- 2) 人材育成委員会 8月例会 JC スクール(案)について
- 3) 9月例会 第46回十和田市秋祭り中日「お祭り広場」開催(案)について
- 4) 60周年記念式典(案)について
- 5) 60周年記念祝賀会(案)について
- 6) 4月例会 人材育成を目的とするセミナー収支決算報告(案)について
- 7) 5月例会 職業体験事業収支決算報告(案)について
- 8) 6月例会 60周年記念事業収支決算報告(案)について

審議事項

- 1) 60周年記念誌(案)一部承認の件
- 2) 人材育成委員会 8月例会 JC スクール(案)承認の件
- 3) 9月例会 第46回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」開催(案)承認の件
- 4) 4月例会 人材育成を目的とするセミナー収支決算報告(案)承認の件
- 5) 5月例会 職業体験事業収支決算報告(案)承認の件
- 6) 6月例会 60周年記念事業収支決算報告(案)承認の件

9月定例理事会 2016年9月6日(火) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 60周年記念誌(案)について
- 2) 60周年記念式典(案)について
- 3) 60周年記念祝賀会(案)について
- 4) 拡大交流委員会 11月例会 地域交流事業(案)について
- 5) 11月 会員拡大事業(案)について
- 6) 11月 臨時総会(案)について
- 7) 11月 JC スクール(案)について

審議事項

- 1) 60周年記念誌(案)承認の件
- 2) 60周年記念式典(案)承認の件
- 3) 60周年記念祝賀会(案)承認の件

10月定例理事会 2016年10月20日(木) 19:30～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 事務局 12月第8回定時総会開催(案)について
- 2) 事務局 年間事業報告書作成(案)について
- 3) 事務局 褒賞特別委員会設置・運営(案)について
- 4) 総務委員会 12月担当例会 卒業式(案)について
- 5) 拡大交流委員会 11月例会 地域交流事業(案)について
- 6) 11月 会員拡大事業(案)について
- 7) 総務委員会 7月臨時総会収支決算報告(案)について
- 8) 11月 JC スクール(案)について
- 9) 竹ヶ原祥一様仮入会(案)について

審議事項

- 1) 事務局 褒賞特別委員会設置・運営(案)承認の件
- 2) 拡大交流委員会 11月例会 地域交流事業(案)承認の件
- 3) 11月 会員拡大事業(案)承認の件
- 4) 総務委員会 7月臨時総会収支決算報告(案)承認の件
- 5) 11月 JC スクール(案)承認の件
- 6) 竹ヶ原祥一様仮入会(案)承認の件

11月定例理事会 2016年11月24日(木) 19:00～ 十和田商工会館4階会議室

協議事項

- 1) 事務局 12月第8回定時総会開催(案)について
- 2) 事務局 年間事業報告書作成(案)について
- 3) 総務委員会 12月担当例会 卒業式(案)について
- 4) 総務委員会 特別会員通信(案)について
- 5) 60周年記念誌収支決算報告(案)について
- 6) 中日「お祭り広場」収支決算報告(案)について
- 7) 2017年度新年祝賀会開催(案)について
- 8) 竹ヶ原祥一君入会(案)について

審議事項

- 1) 事務局 12月第8回定時総会開催(案)承認の件
- 2) 事務局 年間事業報告書作成(案)承認の件
- 3) 総務委員会 12月担当例会 卒業式(案)承認の件
- 4) 総務委員会 特別会員通信(案)承認の件
- 5) 60周年記念誌収支決算報告(案)承認の件
- 6) 中日「お祭り広場」収支決算報告(案)承認の件
- 7) 2017年度新年祝賀会開催(案)一部承認の件
- 8) 竹ヶ原祥一君入会(案)承認の件

12月臨時理事会 2016年12月8日(木) 20:00～ 十和田文化センター第9研修室

協議事項

- 1) 総会上程議案 2017年度事業計画(案)について
- 2) 佐々木学様仮入会(案)について

審議事項

- 1) 総会上程議案 2017年度事業計画(案)について
- 2) 佐々木学様仮入会(案)について

12月定例理事会 2016年12月26日(月) 20:00～ 十和田商工会館5階会議室

協議事項

- 1) 人材育成委員会 8月例会収支決算報告(案)について
- 2) 人材育成委員会 11月JCスクール収支決算報告(案)について
- 3) 総務委員会 60周年記念式典収支決算報告(案)について
- 4) 総務委員会 2016年度卒業式収支決算報告(案)について
- 5) 総務委員会 特別会員通信収支決算報告(案)について
- 6) 拡大交流委員会 わんぱく相撲収支決算報告(案)について
- 7) 拡大交流委員会 11月例会収支決算報告(案)について
- 8) 拡大交流委員会 拡大交流事業収支決算報告(案)について
- 9) 60周年記念祝賀会収支決算報告(案)について
- 10) 事務局 ホームページの管理・更新 収支決算報告書(案)について
- 11) 事務局 十和田青年会議所PR事業収支決算報告(案)について
- 12) 事務局 褒賞特別委員会設置・運営収支決算報告(案)について
- 13) 事務局 年間事業報告書収支決算報告(案)について
- 14) 事務局 第8回定時総会収支決算報告(案)について
- 15) 2017年度総務委員会 新年祝賀会開催(案)について
- 16) 高橋慶多君退会(案)について
- 17) 高崎美樹君退会(案)について
- 18) 吹越玲奈君退会(案)について
- 19) 樋口由美子君退会(案)について
- 20) 佐々木学君入会(案)について
- 21) 谷島明裕君退会(案)について

審議事項

- 1) 人材育成委員会 8月例会収支決算報告(案)承認の件
- 2) 人材育成委員会 11月JCスクール収支決算報告(案)承認の件
- 3) 総務委員会 60周年記念式典収支決算報告(案)承認の件
- 4) 総務委員会 2016年度卒業式収支決算報告(案)承認の件
- 5) 総務委員会 特別会員通信収支決算報告(案)承認の件
- 6) 拡大交流委員会 わんぱく相撲収支決算報告(案)承認の件
- 7) 拡大交流委員会 11月例会収支決算報告(案)承認の件
- 8) 拡大交流委員会 拡大交流事業収支決算報告(案)承認の件
- 9) 60周年記念祝賀会収支決算報告(案)承認の件
- 10) 事務局 ホームページの管理・更新収支決算報告書(案)承認の件
- 11) 事務局 十和田青年会議所PR事業収支決算報告(案)承認の件
- 12) 事務局 褒賞特別委員会設置・運営収支決算報告(案)承認の件
- 13) 事務局 年間事業報告書収支決算報告(案)承認の件
- 14) 事務局 第8回定時総会収支決算報告(案)承認の件
- 15) 2017年度総務委員会 新年祝賀会開催(案)承認の件
- 16) 高橋慶多君退会(案)承認の件
- 17) 高崎美樹君退会(案)承認の件
- 18) 吹越玲奈君退会(案)承認の件
- 19) 樋口由美子君退会(案)承認の件
- 20) 佐々木学君入会(案)承認の件
- 21) 谷島明裕君退会(案)承認の件

一月別活動報告

1月

スケジュール

- 8日(金) 1月定例理事会
- 15日(金) 特別会員総会
1月例会新年祝賀会
- 26日(火) 第2回常任理事会

1月担当例会 2016年度新年祝賀会

日時：2016年1月15日（金）
 場所：富士屋グランドホール
 参加員数：正会員32名、特別会員21名、来賓60名、来訪JC34名
 担当委員会：総務委員会

【事業目的】

対外目的：正会員各自が、来賓・特別会員・来訪JC及び関係諸団体様に新年のご挨拶を行うことで、地域の皆様と良好な関係を築き、しいては、十和田青年会議所の魅力（個人の魅力から会議所の魅力へ繋げる）を伝えることを目的とする。

対内目的：正会員各自が、来賓の方と交流を深め、また、拡大への当事者意識をもつことを目的とする。

【事業目的達成の検証】

出席頂いたご来賓の皆様と親交を深めることができた。また、拡大における有益な情報を特別会員の方々から得ることができた。

【委員長所見】

委員長として、初の事業となった新年祝賀会ですが、準備の遅れもあり当日のリハーサルが満足に出来ませんでした。

初めて新年祝賀会に出席するメンバーが多く、少ない練習時間ではありましたが、ベテランメンバーの皆様にご協力いただいたので、無事に成功させる事が出来たので良かったです。

こちらの準備や対応が良ければ来賓の呼び間違えや、メンバーの行動等防げた事もあると思います。

今回見つかった新たな問題点等を生かして、次の大きな山である60周年式典に向かって行きたいと思います。

一月別活動報告

2月

スケジュール

- 3日(水) 十和田湖冬物語雪像作り
- 9日(火) 2月定例理事会
- 23日(火) 第3回常任理事会
- 29日(月) 2月例会 第7回定時総会

2月担当例会 第7回定時総会

日時：2016年2月29日（月）
 場所：富士屋グランドホール
 参加員数：正会員31名 特別会員7名 計38名
 担当委員会：事務局

【事業目的】

対外目的：なし

対内目的：総会の会場設営・運営をスムーズに行う

【事業目的達成の検証】

達成した点：出席した会員については、意思統一がなされた。

達成しなかった点：100%の出席を得ることができなかった。

【委員長所見】

毎年この時期に行われる総会ではありますが、公益社団法人になった現在、定款に沿った流れになっている事を理解出来ていないと、当日のスケジュール（臨時理事会開催必須）や年度を跨った進行等、混乱しやすいと感じました。この事は多くのメンバーに周知する事が必要です。また、特別会員の出席が年々少なくなってきているので、OB懇親会の開催などの対策が必要であると感じました。

一月別活動報告

3月

スケジュール

- 8日(火) 3月定例理事会
- 18日(金) 3月例会 青年交流会
- 22日(火) 第4回常任理事会

3月担当例会 青年交流会

日時：2016年3月18日（金）
 場所：富士屋グランドホール
 参加員数：正会員31名 入会対象者33名 計64名
 担当委員会：拡大交流委員会

【事業目的】

対外目的：会員拡大を主な目的として、同世代の青年経済人の方々と交流をはかりながら青年会議所の魅力を発信し、理解を深めてもらいオブザーバーの入会につながる会とする。

対内目的：会員拡大の機運を高め、また、オブザーバーに青年会議所の魅力を伝えることで自身の青年会議所運動に対する意識の向上を目的とする。

【事業目的達成の検証】

達成した点：昨年よりも人数を集めることができた。

達成しなかった点：全メンバーが一丸となって人数を集めることができなかった。

【委員長所見】

メンバー共にオブザーバーへの案内も遅くなってしまい、参加人数も厳しくなりそうでしたが、皆様のお力のもと何とか成功することができました。もう少しメンバー全体からのご紹介が欲しかったところではありますが、これからの拡大に向け一歩進めたと思っています。これからミニ異業種交流会等の集まりを設け更なる拡大へ繋げられるよう努力してまいりますので皆様のご協力の程お願い申し上げます。

一月別活動報告

4月

スケジュール

- 7日(休) 4月定例理事会
- 15日(金) 4月例会 人材育成セミナー
- 24日(日) 十和田JC PR事業
- 26日(火) 第5回常任理事会

4月担当例会 人材育成セミナー

日時：2016年4月15日(金)
 場所：十和田市文化センター
 参加員数：93名(正会員28名、一般65名)
 担当委員会：人材育成委員会

【事業目的】

対外目的：食を通じて健康な生活を送ることの大切さを周知し、そのための方法を知ってもらう。それにより最も重要な資本である体が最高のパフォーマンスを発揮できるようになり、仕事や趣味、生活をより精力的に行え地域全体の活力向上へと繋げる。

対内目的：一般の市民も対象のセミナーを開催することで十和田青年会議所をPRする。不摂生な生活を送りがちなJCメンバーに健康と食の重要性を理解し改善してもらうことによって、より積極的にJC活動を行ってもらう。

【事業目的達成の検証】

アンケートの集計結果では、セミナーの内容を日々の生活やビジネスへと活用できる・ややできると9割以上の人が回答した。最終的な参加人数は計93名で、予定していた100名には達しなかったが近い人数を集めることが出来た。

【委員長所見】

初めての担当事業ということで不安が大きかったが、当日は特に大きなトラブルもなく無事に事業を開催することが出来た。

講師とは何度も打ち合わせを重ねたが、趣旨に沿った内容のセミナーとなるか心配であった。当日の講演内容はしっかりと趣旨通りの内容であったし、とても素晴らしいものであった。

今回は食をテーマとしたセミナーであったため、所謂健康セミナーのように高齢者の参加者が多くならないか心配であったが、当日の参加者は若い世代が多くビジネスを絡めるという思惑がしっかりと活きたのではないと思う。

アンケート結果も概ね好評であり、実践してみたいという意見が大半を占めた。

一番の反省点としては、リハーサルを行わなかったため設営にかかる時間を把握できず、当日の準備がかなり慌ただしく時間ギリギリであった。

委員会メンバーや参加メンバーの協力で予定通りの開催となったが、今後は余裕を持ったスケジュール組みを課題としたい。

十和田JC PR事業

日時：2016年4月24日(日)
 場所：十和田労働基準協会前
 参加員数：正会員17名
 担当委員会：事務局

【事業目的】

対外目的：60周年を迎える十和田青年会議所を更に多くの市民に周知して頂く事を目的とする。

対内目的：60周年を迎えるにあたり、日頃何かとご協力頂いている地域の皆様に感謝の心を抱き、絆を深めながらPR活動を行うことを目的とする。

【事業目的達成の検証】

事業達成基準である未来短冊も目的達成基準60枚を超える95枚(158%)を集める事ができました。

【委員長所見】

事業当日は天候にも恵まれ、多くの観光客で賑わっている中、さくらも満開という好条件で十和田青年会議所のPRをする事ができた事は大変幸運でありました。また、未来短冊の前で記念撮影をする観光客も多く、60周年を迎える十和田青年会議所の歴史パネルから、これから行われる事業を沢山の方に興味を持って頂く事が出来たと思っております。しかし、一年を通じて効率的にPR活動を行う為には、沢山のメンバーの参加と予算が必要であるという事、また60周年を迎えた十和田青年会議所であるにもかかわらず、未だに一般市民からの認知度が低い事も今後の課題と感じます。次年度以降にPR事業が行われるかは、単年度制である事や理事長の考えが影響してくる事ではありますが、またこのような機会があるならば、是非多くの市民と関わりあい、もっと十和田青年会議所運動の理解を得られるような企画が必要と感じます。更にこの事業に於いてはメンバー自身がPR事業として「こなす」という意識ではなく、メンバー各々が心の底からもっと十和田青年会議所を知ってもらいたいという気持ちがあれば、広く伝えられるものだと思っております。

一月別活動報告

5月

スケジュール

- 12日(休) 5月定例理事会
- 15日(日) 5月例会 職業体験事業
- 26日(休) 第6回常任理事会

5月担当例会 職業体験事業

日時：2016年5月15日(日)
 場所：十和田市東公民館
 参加員数：十和田市内小学校 45名 保護者 45名 外部協力業者 35名
 十和田青年会議所 24名 合計159名
 担当委員会：お祭り委員会

【事業目的】

対外目的：本事業は、子ども達に将来の夢を実現する一步を楽しみながら体験することを目的とする。その手段として、近隣市町村に従事している専門家をお招きし、小学生が実践的な知識や技能を疑似体験することにより改めて職業に対して感謝し、働く事への興味・関心、意欲を育む。また、新たな選択肢と挑戦する気持ちを持つことで更なる未来への道を切り開く意欲を助長する。

対内目的：十和田青年会議所が今後も公益団体を継続するために、職業体験事業が通年事業となるように継続して実施する事と、過去の反省を活かし、年々事業のレベルを上げていく事が目的です。

【事業目的達成の検証】

対外目的に関して(アンケート結果より考察)

質問2 お子さんから職業体験をしたことについて、将来の夢など具体的な話題が何がありましたか 「あった」 35.7%

- 質問3 保護者から見て、お子さんが職業体験を終えて変化したところがありますか 「あった」 38.1%
- 質問4 子供達に職業体験をさせることについて、どう思われますか。
 「良かった」等の好意的な意見 95.2% 「もっと質を上げて欲しい」という意見 2.4% 無回答 2.4%
 ※良かったに加え次回も参加したい、夢の選択肢が増えた等の意見も頂いております
- 質問5 今後、職業体験事業の機械があれば、参加させたいと思われますか 「参加させたい」 100%
- 質問6 この事業は青少年の健全な育成に役に立つと思う。「役に立つと思う」 95.2%
- 質問7 十和田青年会議所の活動事業でご存知の事業は何か
 職業体験64.3% 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」64.3% 十和田囃子競演会9.5% ウマジン事業47.6% 60周年記念事業9.5% わんぱく相撲11.9% 異業種交流会4.8% 人材育成セミナー 2.4% 今回はじめて知った7.1%
- 質問8 今後、同様の職業体験を行う上で、改善すべき点や要望したい点を何でもお書き下さい。
 良かった11.9% 無回答31.0% 余った時間の有効活用4.8% 質問・体験談コーナーが欲しい7.1% 業種の増加7.1% メンバーの対応4.8% 学年幅の増加2.4% 回数増加2.4% 希望体験をしたかった7.1% 1箇所1業種が良い2.4% 時間が足りない4.8% 友人と一緒に良い2.4% 内容をもう少し深く16.7% 学校毎でやって欲しい2.4% 申込書について4.8%
 ※複数回答あり

上記の結果より考察すると、即効性の効果に関わる質問2・3においては「あった」という回答が30%後半代と低い数値となっており「未来への道を切り開く意欲を助長する」為にはやや弱い結果となりましたが、将来的な健全な育成に関わる質問5・6では、役に立つと思われていたと思われてる方が95.2%いる事より、この事業における「青少年の健全な育成」においては確実な一歩を実感できるものと判断します。

参加児童の感想文からの考察

今回の達成条件では「子ども達の意見に意欲の向上や働く事への関心、喜びの声」となっております。

まずは一番多かった言葉が「〇〇の職業が楽しかった(=興味を持った)」、「意外に難しかった・思ったより厳しかった」という感想が多くみられました。

加えて、少数意見ではあるが「自分の選択していない職業を体験した結果その職業が自分の目標になった」「自分の決めた職業以外にも目・耳かたむけることを学んだ」という感想もあった。ここから想定すると、仕事には理想だけではなく現実の厳しさ・大切さがありその中で自分がどう仕事を選択していきのかという事を体験を通して学んでして頂けたと思います。「意欲の向上」に関してはやや効果は薄いものがあるが「関心」「喜び」は充分に参加者も感じていただけたと思われる。

数名は「実際にやってみてこの職業に興味を持った」「賃金はこうやった努力で稼いでいるんだな」といった私たちが一番狙っている着地点に至ってる子もいました。このことから「楽しく興味を持った」も大事ですが、それだけでは終わらせられないような「高レベルな着地点」への誘導の工夫も求められるのではないかと考えます。また、どのレベルの着地点が正しいかと言う件に対しては完全な答えは無いと思いますが、小学校5、6年をターゲットにするのであればどの程度のレベルを求めて良いものかは、今後の課題ではないかと考察します。

対内目的に関して

公益目的も達成致しましたし、アンケートより 100%今後も機会があれば参加したいという結果からみると、公益団体としての十和田青年会議所としては確実な成果を得たと感じます。

但し、少数ではありますが運営に対する厳しいお言葉を頂いておりますので更なる精査は必要と感じます。

【委員長所見】

今回の職業体験学習は3回目というとても責任の重い事業でありました。前回同様の9業種の事業所に協力頂いたほかに、食・教育・技術という3つのテーマを盛り込むことにより充実した体験学習になったのではないのでしょうか。参加した生徒たちは、自分の将来の夢をたのしみながら体験することにより新しい発見と気づき、新たな選択肢の兆しを見出すきっかけになったのではないかと感じています。体験中の子ども達の姿は生き生きとし、その目の輝きと力強さは私たちの当日まで努力してきた事、苦悩を全て吹き飛ばしてしまっただけでなく、当日ご協力頂いたメンバーの力強い支えもあって最後までやりきれたのだと思います。加えて、感想文の中でもあった「職業体験を通してより働く事の大変さが分かった」「楽しそうに見える仕事は一番難しかった」「一生懸命にやっている姿を見て格好良かった」という感想を目にし、改めて教育の大切さと生の学びの重要性を実感するとともに更なる職業体験学習への期待を募らせた瞬間でした。至らないところしかない私に協力して頂いた事業所の皆さま、そして私に多大なる力をお貸し頂いた室メンバー始め全メンバーに深く感謝し、委員長所見とさせていただきます。



スケジュール	
5日(日)	6月例会 60周年記念事業
9日(休)	6月定例理事会
12日(日)	わんぱく相撲 十和田場所
23日(休)	第7回常任理事会

6月担当例会 60周年記念事業

日時：2016年6月5日(日)
 場所：十和田市民文化センター
 参加員数：453名
 担当委員会：60周年記念委員会

【事業目的】

対外目的：講師の講話を通じて世界の情勢を知る事で、世界から見た日本、この日本に生まれ育った私たちの立場や現状を知り、世界の中でも最も恵まれた日本で生活出来る事の意味や、その恵まれた生活に対する感謝の気持ちを抱く為のキッカケを与えます。そして、今後、情報の溢れる世界で生き抜く青少年が、もっと外へ目を向けて多くの情報を知ることで、今後成長していく過程において、必要とされる道徳的心情を養う事を目的とします。

対内目的：この事業を通じて十和田青年会議所として、育ててもらった地域と支えてくれる家族へ、改めて感謝の気持ちを再認識します。そして、会員自らが、これからの担う青少年に対して感謝の気持ちを伝えるための意識の醸成を図ります。今後のJC活動において、会員一人一人が常に感謝の気持ちをもつ青年として、より一層、地域へ貢献する為のキッカケを作ります。

【事業目的達成の検証】

(達成した点)

本講演会を通じて参加した方々が写真展をはじめとする、渡部陽一氏の講演会に参加する事により、日本では感じる事のない世界を感じる事が出来たと思います。今回のテーマは「感謝あたりまえの幸せ」でしたが、日本にある環境と世界にある環境の違いを講演会において聴覚的に入る情報と、写真展において視覚的に目に入る情報とで参加者に伝えていきました。当日配布したアンケートでは参加者の約90パーセントの方が理解が深まったと感じております。講演会に重ねて写真展を同時に開催した

事により更に理解度を上げる事への効果があった事と、私達の置かれている、生活環境や生活水準の高さを改めて知って頂く機会を与える事が出来たと思います。以上の事から、本講演会の趣旨でもあります「あたりまえの幸せに感謝する事の大切さ」を参加者へ伝える事が出来たと思います。以上の検証から本事業の目的を概ね達成できたのではないかと検証致します。

(達成しなかった点)

本講演は青少年育成を目的として開催されましたが、講演会当日は30代から60代の方々が非常に多く、小学生、中学生、高校生、大学生などの参加者が少数でありました。講演会当日は、高校総体や他イベントが十和田市近隣で開催されていたこともあり、高校生をはじめとする中学生、小学生の参加が極めて低かったです。参加者数のグラフから検証をしてみても、10代、20代の参加者が少ないのに対して50代、60代が非常に多かったのが分かります。今回は無作為による集客を行いました。学校レベルでの集客などの手法を盛り込む必要性も特に重要視しなければならない部分でもありました。併せて、総体、運動会、中体連などの開催予定の予測が必要であると考えます。本来、青少年育成事業を行う上で小学校就学始期から約18歳までの青少年の参加を多く見込めなかった部分は今後においての課題でもあり、達成できなかった点と言えるのではないかと検証致します。

【委員長所見】

本講演に参加された皆様もそうですが十和田青年会議所の会員の皆様も今回の記念講演に携わる事により、私達が住むこの日本の生活環境がいかに恵まれているものであるのかという事を肌で感じる事が出来た講演会だったと感じております。これまで私達は戦争もそうですが、食糧難などの危機に貧した事が御座りません。私達の生活は勿論、衣食住を確立させる為に世界に暮らす大人や子供がどれほど犠牲になっているのかを本公演を通じて実感する事が出来たと思います。アンケートからの理解度、今後においてこのような講演会を開催してほしいという実際の声を受けている事は今まさにこのような部分を重んじ後世へ伝えていく事こそが必要不可欠であり、とても重要であると感じさせられました。本講演に至っては十和田青年会議所特別会員の皆様をはじめ各地青年会議所、現役会員の皆様一人一人の多大なる協力や講演会に向けた厚い準備があったからこそこのような意義の深い講演会が出来たと思います。

今後このような講演会を様々な形で地域における青少年の皆様に対して開催していく事で、地域もより明るく心も豊かな青少年育成を実現できると感じました。改めて本事業に携わって下さった皆様へ深く感謝と敬意を表し委員長所見と致します。

一月別活動報告

7月

スケジュール

7日(休)	7月定例理事会
15日(金)	7月定例会 臨時総会
21日(休)	第8回常任理事会
31日(日)	第32回わんぱく相撲全国大会

7月担当例会 臨時総会

日 時：2016年7月15日(金)

場 所：十和田富士屋ホテル

参加員数：正会員27名、委任状12枚、特別会員187名中10名 計37名

担当委員会：総務委員会

【事業目的】

対外目的：次年度理事長候補者の志を表明する場を設けることにより、2017年度も引き続き特別会員の皆様にご指導・ご支援を頂く事を目的とする。

対内目的：2017年度の理事長を選任するにあたり、次年度の青年会議所の方向性を決める重要案件について、正会員各自が責任をもった決議をする事を目的とする。

【事業目的達成の検証】

達成した点：次年度理事長候補者の思いが会員・特別会員へ伝わった。

達成しなかった点：議題決定スケジュールの把握が足りなかった。

【委員長所見】

今回総務委員会で担当した7月臨時総会ですが、大変多くのミスがありました。事前の準備やリハーサル不足、シナリオや配布資料のミスなど多くの問題点を残しました。

設えの甘さが引き起こしたミスが大半でしたが、メンバーへの総会へ対する意識付けという意味でも不十分であったと痛感いたしました。反省すべき点は多々ありましたが、まずは次年度理事長候補者の思いのこもった挨拶を、皆様に無事に届ける事が出

来たことが何よりであったと思います。また懇親会では、先輩方から総会のミスについての指摘もいただきましたが、激励の言葉も頂き、次年度に向けて弾みがついたと思います。

わんぱく相撲十和田場所

日 時：2016年6月12日(日)

場 所：十和田市相撲場

参加員数：第32回わんぱく相撲全国大会：小学生(4・5・6年生)男子8名 女子3名 合計11名

担当委員会：拡大交流委員会

【事業目的】

対外目的：わんぱく相撲を通し子供達の肉体と精神や感謝する心等を育成する。社会教育の一環として行う。

対内目的：わんぱく相撲に参加する子供達や親、指導者と接しながら社会教育を学ぶ。

【事業目的の達成の検証】

今回は十和田市内の小学校4年生～6年生にわんぱく相撲十和田場所の案内を送付し、参加者を増やし大会を盛り上げる試みを行いました。そのため女子相撲を含め13名の子供達が集まったことは、これまでに比べると飛躍したように思います。男子の部の優勝者は「第32回わんぱく相撲全国大会」に臨みそれぞれ最後まで諦めず、全身全霊で試合に臨むことで、両国国技館で相撲をする喜びや親への感謝、そして相手を敬う事の大切さを大きく学べたのではないかと考えます。それぞれの試合の結果こそは残念ではありましたが、自身と向き合う貴重な機会を与えた事により「礼・思いやり・努力・最後まで諦めない精神」を学ぶことが出来たと思います。この事から本事業の目的は概ね達成されたと検証致します。

【委員長所見】

昨今は競技をする子供の減少などもあり不戦勝で全国大会出場という状態となっておりますが、今年度は十和田市相撲場を使用し男子の部と女子の部を行い、保護者や一般市民の方達に、競技を見てもらえたことは良かったと思います。また全国大会へは、4年生代表、瀧内耕君、5年生代表、戸来源樹君、6年生代表、中居亮太君の3名が出場しました。相撲部屋に宿泊し、他県のわんぱく力士と時間を共にすることで、お互いに協力をする精神を学ぶことができたと思います。相撲の聖地ともいえる両国国技館の土俵にて相撲を取る事で、会場でしか感じる事が出来ない緊張感や感動を一人一人が感じておりました。子どもたちが最後まで諦めずに、精一杯自分なりに戦ったことで、個々の成長に繋がったと感じております。次年度からは企業協賛を募るなどし、十和田場所の景品などを含めボリューム感のあるものにし、全国大会への旅費交通費は保護者の分も負担できるくらいになるとよいと思います。今年度をきっかけに十和田場所が多くの方たちで賑わうことを期待したいと思います。

一月別活動報告

8月

スケジュール

4日(休) 8月定例理事会
7日(日) 奥入瀬クリーン作戦
23日(火) 第9回常任理事会
26日(金) 8月例会 JCスクール

8月担当例会 JCスクール

日時：2016年8月26日(金)
場所：十和田富士屋ホテル
参加員数：正会員27名、委任状12枚、特別会員187名中10名 計37名
担当委員会：人材育成委員会

【事業目的】

対外目的：なし

対内目的：ビジネススマンとして、リーダーとしてよりよい組織をつくる、またはさらに飛躍するための足掛かりを得ることを目的とする

【事業目的の達成の検証】

検証方法：事業終了後にアンケートを実施し、事業が有用であるとの回答を8割以上得る

結果：理解できたとの回答が100%であった

【委員長所見】

今回の事業では日本JCセミナーサービスを利用したが、トレーナーの方々によって練り上げられたプログラムであるため、構成もしっかりしており非常に有用なセミナーでした。

内容については打ち合わせ等無かったため事前に把握することは出来ませんでした。当日受講しJCスクールとして相応しい内容であったと感じました。

4月例会、8月例会と続けてセミナー事業の開催であったが、今回は開催規模は小さかったが前日にしっかりとリハーサルの時間を取るなど4月例会での反省点を活かし、特にトラブルも無くスムーズな運営が出来たと思います。

反省点としては、セミナー終了後に行うアンケートがweb上で回答するものであったため、後日都合の良い時に各自記入してもらうこととしたが、非常に回答率が悪かった点です。

どのような形態であっても、アンケートを記入してもらう時間を組み込みその場で記入してもらうことが重要であると痛感しました。この点については今後の課題として行きます。

一月別活動報告

9月

スケジュール

6日(火) 9月定例理事会
10日(出) 9月例会
2016中日「お祭り広場」
27日(火) 第10回常任理事会

第46回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」

日時：2016年9月10日(土)
場所：十和田市官庁街通り・十和田市相撲場
参加員数：正会員30名 68.1% 観光客11万人(観光協会調べ)
担当委員会：お祭り委員会

【事業目的】

対外目的：十和田市の代表的なお祭りである『秋まつり』を運営することによって、市民や訪れた観光客に対し十和田の伝統文化であるお祭り・十和田囃子の魅力を大いに伝え、地域の文化と芸術を広く発信し、文化芸術振興に貢献する事を目的とします。

対内目的：中日「お祭り広場」を運営するにあたり、準備段階でのご協賛金を頂く感謝のこころと当日の動き、役割等、全メンバーに広く協力してもらい、メンバー同志のつながりの大切さを胸に抱き中日「お祭り広場」というビッグイベントを、こなすことで個々の事業に対するスキルを上げてもらい、誇りをもって行動してもらおう。強固なLOMへとパワーアップすることで、LOMにとっても各メンバーにとっても成長に大きく繋がり、今後様々な効果を生み出す事を目的とします。

【事業目的達成の検証】

秋まつりの運営をすることによって、十和田の伝統文化であるお祭りを多くの市民、観光客に、地域の文化と芸術を広く発信することができ、文化芸術振興に貢献することができました。

今年度も外部の意見を聞き協議する場として有識者会議、またお祭り参加団体との協議会、今年10回目となる十和田囃子競演会に於いて囃子指導者との会議を行い十和田囃子合同演奏会を実施し、昨年よりも多くの市民や観光客に競演会を見て頂いた事が参加団体、関係業者様から声を頂きました。先輩たちが作り築き上げた十和田囃子の魅力を大いに伝える事ができました。

アンケートの結果に於いて中日アンケートにおいて『十和田市の伝統文化である十和田囃子や山車運行の魅力は伝わりましたか?』良かったと答えた方が78.1% 『十和田市秋まつり中日「お祭り広場」は文化芸術の振興に貢献していると思いますか?』と思うと答えた方が90.6%であり2項目で「思う」の回答を70%以上達成する事が出来ました。

また昨年よりも早い段階で企業から協賛金を頂くことが出来てメンバー同志のつながり、中日「お祭り広場」というビッグイベントを、こなすことで個々の事業に対するスキルを上げる事が出来ました。

【委員長所見】

十和田青年会議所が60周年という節目にお祭り委員長を務めさせて頂きましてありがとうございます。お祭り開催に至るまでに参加団体、また関係団体と関わる事が出来ました事に大いに感謝し大変勉強させて頂きました。お祭り当日はメンバーの個々の能力に助けられることが特に多く大きな事故、ケガもなく無事にお祭りを終える事が出来ました。十和田囃子競演会に於いては優勝旗、合同演奏会。60周年記念企画のウマジン創作演舞。夜間運行コンテストでは表彰看板を制作しオリジナリティを出した物を前面に押し出した事が参加町内会の人達に喜ばれたことが大変うれしかったです。先輩達から長い間、受け継がれてきた中日「お祭り広場」の事業を担当させていただきましてありがとうございました。

一月別活動報告

10月

スケジュール

16日(日) 10月例会
60周年記念式典 祝賀会
20日(休) 10月定例理事会

10月担当例会 60周年記念式典 祝賀会

日時：2016年10月16日(日)
場所：富士屋グランドホール2F 平安の間
参加員数：来賓62名 特別会員26名 他LOM53名 メンバー 27名
担当委員会：総務委員会

【事業目的】

十和田青年会議所のこれまでの歴史や活動内容、これからのビジョンをご理解いただくことを目的とします。

【事業目的達成の検証】

達成した点：

(対外) 出席された皆様にこれまでの歴史や活動内容、これからのビジョンを明確に伝える事ができた。

(対内) 式典の準備や運営を通じて、60周年という歴史と伝統を肌で感じてもらった。達成できなかった点：

(対外) 特になし

(対内) メンバーの出席率が60%と低く、意識向上・組織力向上という点では効果が低かった。

【委員長所見】

今回創立60周年記念式典を総務委員会で担当する事になりました。当日はリハーサルの時間が多く取れたので大きな失敗はありませんでしたが、事前の準備や当日のタイムスケジュールの詰めの甘さや、想定外の事態等もあり、大幅な時間の遅れが生じてしまいました。反省点もたくさんありましたが、メンバーの意識・資質向上やおもてなしの部分といった、今後十和田青年会議所が更なる発展を遂げるためのヒントも多く得られました。また、「感謝 そして 勇進 ～誇りを胸に今行動しよう～」というスローガンを掲げ、約150人もの方々にご出席して頂き、その皆様の前で60周年記念事業の紹介や長期ビジョンの発表、歴代理事長への感謝状贈呈を無事を行う事が出来たので、60周年の重みを全員が感じ取れたのではないかとおもいます。

一月別活動報告

11月

スケジュール

2日(休) 第11回常任理事会
10日(休) JCスクール
20日(日) 11月例会
地域交流事業 パークゴルフ
24日(休) 11月定例理事会
30日(休) 会員拡大事業
ボーリング大会

11月担当例会 地域交流事業 パークゴルフ

日時：2016年11月20日(日)
場所：高森山パークゴルフ場
参加員数：正会員13名
担当委員会：拡大交流委員会

【事業目的】

対外目的：JCメンバーとパークゴルフをプレーすることでメンバーの人柄に接してもらいながら互いの親睦を深めると共にJCへ興味を持ってもらい入会につなげる。

対内目的：パークゴルフを通し会員間の親睦を深め十和田JCの士気を高めることにより、より一層会の雰囲気良くし会員拡大へつなげる。

【事業目的の達成の検証】

目的達成の検証方法：会員間交流が出来たか。オブザーバーの入会に繋がったか。

達成した点：プレーと会話を楽しみながら参加者の親睦が深まった点は目的達成出来た。

達成しなかった点：オブザーバーの参加はなく、メンバー参加も予定より少なかった。電話での声かけなどが足りなかったと反省しております。

【委員長所見】

当日は風が強く寒い中ではありましたが、メンバー同士プレーを楽しめた点では良かったと思います。ただ、オブザーバーの参加がなく、メンバーの参加人数が予想以上に少なかったのは残念でした。このような事業でメンバー間の絆を深め当会の雰囲気をよくしていく事がオブザーバーの入会につながると思います。懇親会を含め総体的に見ると本年度は60周年事業がメインにあったということもありメンバー間交流が乏しかったという事に気付かされました。メンバーの一体感を高めるためにはこのような事業も良いと思いました。

12月

スケジュール

6日(火) 第12回常任理事会
15日(休) 12月例会
第8回定時総会 卒業式
26日(月) 12月定例理事会

12月例会 第8回定時総会

日 時：2016年12月15日(木)
場 所：富士屋グランドホール 2階
参加員数：正会員31名(外委任状11名)、特別会員9名
担当委員会：事務局

【事業目的】

対外目的：総会を適法に運営することで、しっかりとした法人運営を行っていることをアピールする。

対内目的：総会を適法に運営して、上程議案を適法に決議する。

【事業目的の達成の検証】

正規な手順のとおり総会を開催、運営できたことにより、しっかりとした法人運営を行っていることをアピールできた。

【委員長所見】

総会に於いては、7月の臨時総会で不備のあったバッチ伝達や、最近全員で壇上へ上るシステムになったクリード唱和等何度もリハーサルを行った事で、進行自体は特段問題はありませんでしたが、総会数日前に欠席者が相次いだ事で、急遽変更せざるおえない状況が多く、最終的には細かいミスもあった総会ではありましたが、急なお願いを快く引き受けて頂いたメンバーの皆様には大変助けられました。やはり総会はメンバーの多くが参加する事で成立するものである為、その必要性を更に浸透させる事も今後の課題だと感じました。また今回クリード含むセレモニーに対しても先輩より苦言があり、セレモニーは出来て当たり前でありこれを注意されるということは、いよいよ我々の力が減速しており、本当に危機感をもってやらなければならないと感じました。

卒業式

日 時：2016年12月15日(木)
場 所：富士屋グランドホール 2階
参加員数：正会員30名 特別会員20名 来訪JC23名
担当委員会：総務委員会

【事業目的】

対外目的：卒業生と所縁ある方々と共に、巣立ち行く卒業生の歩みを知り、新たな門出を祝福して頂くため。

対内目的：(公社)十和田青年会議所にて、これまで長年支えあい励ましあってきた卒業される正会員の皆様の晴れの門出を祝福し、輝かしい未来へと送り出す。

【事業目的の達成の検証】

達成した点：しっかりと思いを込めた卒業式を運営することができ、その思いが卒業生へ伝わった。

達成しなかった点：全体の時間配分が悪く大幅に時間が押した。

【委員長所見】

総務委員会での最後の事業として、卒業式並びに懇親会を行いました。リハーサルの時間が取れず、時間管理の下手際もあり、大幅に時間を押す事になり、懇親会の時間も少なくなっていました。事前準備やきちんとリハーサルが出来ていれば、気が付いて直す事の出来た部分が多々あったように思いました。送辞や答辞に関しては、個人個人の思い入れが大きく反映される場所でもあるので、時間管理という観点では非常に悩ましい部分でありました。今回は時間の遅れという形で出席者にご迷惑をお掛け致しましたが、卒業生に気持ちのこもった卒業式を設えるという部分では達成できたのではないかと感じております。いかにスケジュールを守り、なおかつ卒業生も現役メンバーも温かい気持ちになるバランスのとれた卒業式を開催できるかが、今後の課題になるかと思えます。

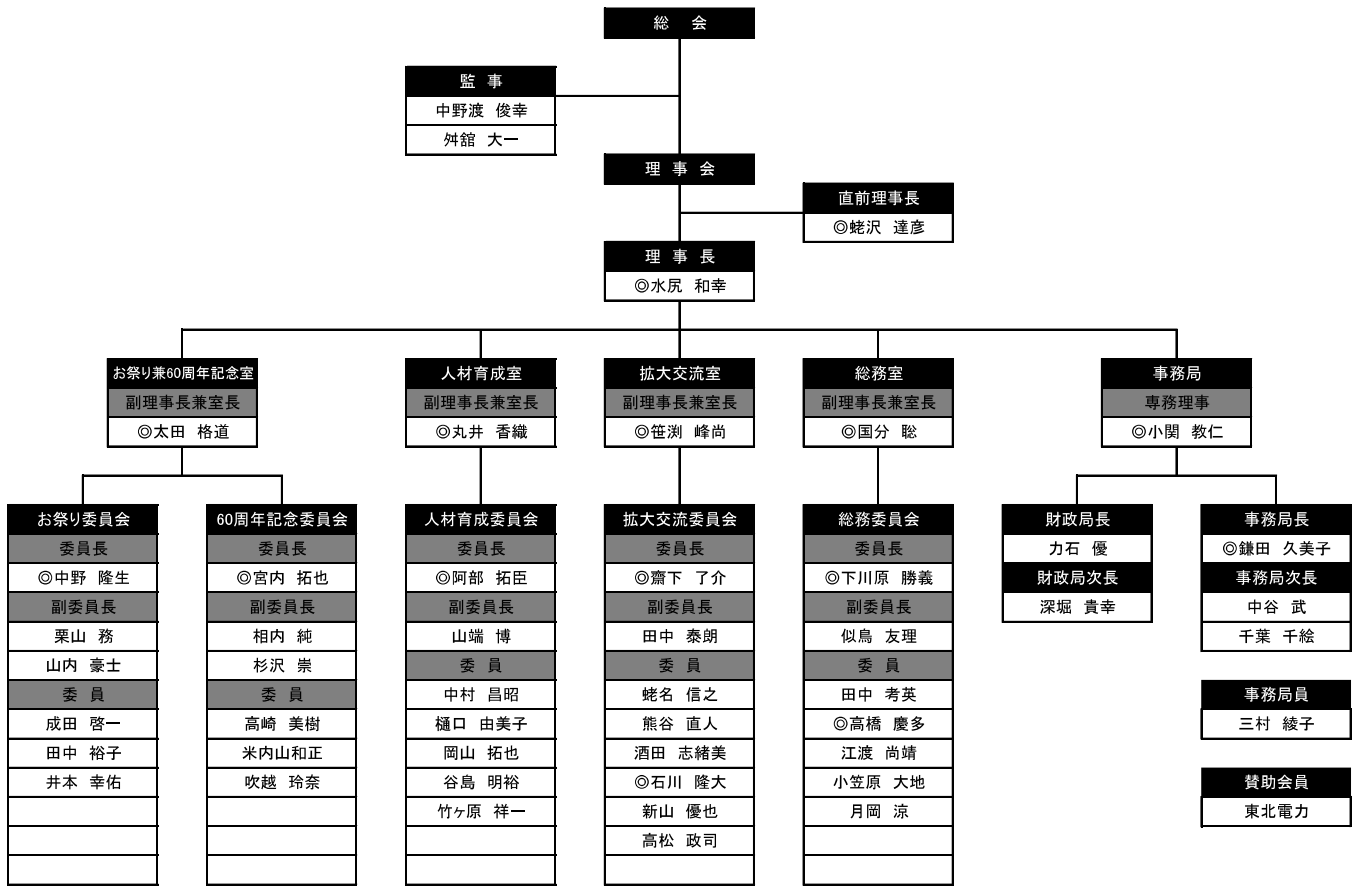
諸 団 体 出 向 一 覧 表

(順不同)

所 属 し て い る 諸 団 体	役 職
(社)十和田市観光協会	常 任 理 事
奥入瀬川クリーン対策協議会	理 事
十和田地区(市)交通安全協会	役 員
太素顕彰会	役 員
青少年育成十和田市民会議	推 進 委 員
十和田市生涯学習推進会議	委 員
十和田国際交流協会	会 員
「小さな親切」運動十和田支部	賛 助 会 員
十和田市明るい選挙推進協議会	委 員
十和田市生活環境保全審議会	委 員
十和田市青少年育成協議会	委 員
十和田市中心市街地活性化協議会	役 員
十和田ふるさと資源活用実行委員会	委 員
十和田市セーフコミュニティ策定部会	会 員
十和田市生涯健康作り推進協議会	委 員

2016.12.31 現在

2016年度 公益社団法人 十和田青年会議所 組織図



本会出向	
渉外委員会	
委員	◎国分 聡
全国大会運営会議	
委員	◎石川 隆大
東北地区出向	
東北ゼミナール委員会	
委員	◎高橋 慶多
東北コミュニティ確立委員会	
委員	◎丸井 香織
総務委員会	
委員	杉沢 崇
青森ブロック出向	
次世代LOM支援委員会	
委員	◎齋下 了介
主権者意識向上委員会	
委員	◎中野 隆生

青森ブロック出向	
地域再興委員会	
委員	◎宮内 拓也
ラブふるさと推進委員会	
委員	力石 優
総務委員会	
委員長	◎国分 聡
運営幹事	深堀 貴幸
委員	中村 昌昭
アカデミー大学	
学長	◎蛭沢 達彦
総括幹事	中谷 武
塾生	相内 純
塾生	◎阿部 拓臣
塾生	井本 幸佑
塾生	石川 隆大
塾生	小笠原 大地

青森ブロック出向	
アカデミー大学	
塾生	岡山 拓也
塾生	熊谷 直人
塾生	栗山 務
塾生	◎下川原 勝義
塾生	高崎 美樹
塾生	田中 泰朗
塾生	田中 裕子
塾生	谷島 明裕
塾生	千葉 千絵
塾生	月岡 涼
塾生	成田 啓一

青森ブロック出向	
アカデミー大学	
塾生	似鳥 友理
塾生	樋口 由美子
塾生	山内 豪士
塾生	山端 博
南部州デザイン会議	
JC運動発信委員会	
評議員	◎水尻 和幸
委員	◎小関 教仁
委員	舛舘 大一

物 故 会 員 名 簿

氏 名	生 年 月 日	物 故	勤 務 先	備 考
田 中 和 宏	昭和16年 3月19日	昭和50年11月28日	十和田タクシー(株)	
高 橋 康 男	昭和 9年10月27日	昭和53年 2月21日	高橋うどん店	第14代理事長
岩 間 迪 明	昭和16年 9月12日	昭和54年11月 3日	(株)岩間印刷所	第20代理事長
三 浦 明	昭和 9年 6月13日	昭和58年 1月23日	(株)ツタヤ工業	第13代理事長
伊 藤 文 雄	昭和10年 2月13日	平成 2年 3月26日	むら福菓子点	第15代理事長
村 木 邦 夫	大正11年 9月16日	平成 3年 8月30日	村木薬品(株)	初 代 理 事 長
石 川 敏	大正12年12月15日	平成 7年10月 9日	石川不動産管理(株)	第2・3代理事長
益 川 昌 彦	昭和 7年10月24日	平成 7年10月 9日	益川商事(株)	第9・10代理事長
佐々木 孝 志	昭和17年 8月 6日	平成13年 6月12日	ネノコウジ	
浅 原 善 康	昭和 3年12月16日	平成14年 2月 1日	浅原歯科医院	
向中野 由 吉	昭和14年12月11日	平成14年 4月 2日	(株)三本木タクシー	第22代理事長
小山田 芳 朗	昭和14年 3月 1日	平成15年 3月 5日		
安 藤 博 通	大正13年 2月25日	平成16年 5月24日	安藤産婦人科	第5・6代理事長
杉 本 圈 一	昭和17年 9月 9日	平成17年 3月 8日	(有)モードショップとーわ	
稲 本 重 二	昭和21年10月13日	平成17年 9月23日		
稲 本 純 一	昭和11年 5月26日	平成18年 3月15日	稲本商事(株)	第12代理事長
秋 元 雄 一	昭和21年10月 7日	平成20年 3月27日		
中川原 誠 三	昭和26年12月29日	平成20年 9月13日		
藤 森 剛	昭和17年 9月24日	平成21年 3月14日		第21代理事長
苦米地 伸 泰	昭和36年 7月26日	平成22年12月24日	トマベチ(株)	
大 友 英 治	昭和 9年 8月31日	平成24年 3月10日	大友陶器店	
小笠原 重 二	昭和23年 5月 5日	平成25年 9年16日	(有)小笠原国雄商店	
気 田 正 太	昭和49年 2月25日	平成26年 1月10日	日商(株)	
平 野 良 三	昭和21年 2月 4日	平成26年11月 4日		第28代理事長
深 瀬 新二郎	昭和 3年12月10日	平成26年12月26日	深瀬商会	第7代理事長
似 鳥 広 恭	昭和29年11月 7日	平成27年1月13日	(有)ニタドリ	第38代理事長

蛭 沢 達 彦



JCライフを振り返って

2010年3月から始まったJCライフを終えるにあたり、これまで様々な形で私に関わっていただいた方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。皆様のお陰で悔いなく充実した気持ちで十和田JCを卒業することができます。ありがとうございました。

入会のきっかけは、プライベートと仕事で自分の将来に疑問を抱き、思春期さながらに自分探しの旅に出なければと悩んでいたからでした。2010年1月、新年祝賀会にお祭りスポンサー企業として招待され、自分がスターになったかと勘違いするような同年代からの熱烈な名刺交換要求に驚き、大勢の人を前に中野渡俊幸理事長が行った堂々とした挨拶に感動し、東北町出身で仲間のいなかったウブな私は、ここなら友達100人できるかな、自分を変えられるかとも思い入会を決めました。最近になって理事長挨拶はカンペ使用だったと知りましたが、中野渡俊幸先輩への気持ちはほぼ変わりません。なぜJCなのかと問われれば、最初に誘われたのがJCだったからというだけの理由です。しかしこれまでを振り返ってみると、JCに入会していなければ絶対にいまの私はおらず、偶然だと思ったことも必然のようであり、人知の及ばない力、しいて言えば私の前世の行いが良かったからだろうと解釈しております。

入会当初は何に参加すればよいかわからず、仕事の後の夜遅くまでの委員会や、そのあとの二次会三次会は当たり前の飲み会など、誘われればすべてに顔を出していました。連日ヘトヘトでしたが、なぜだか少しずつ「JCって楽しい」と感じ始めていました。JCライフを勢いづかせてくれた当時所属委員長だった杉沢崇君にはとても感謝しています。

そんな私を大きく変えたのは、2011年の東日本大震災発災とお祭り委員長の担いでした。被災地支援で釜石市を訪れた際、五感に感じる強烈な被災地の刺激と、計り知れない悲しさを抱えながらも私たちへ笑顔で労いの言葉をかけてくれる被災者の強さに、自らの地域は自らが盛り立てていくんだという気概が芽生え始めました。そして、入会2年目で経験の浅いお祭り委員長がわけのわからないまま壁にぶつかり、それでもがむしゃらに行動していくうちに、LOMメンバーや町内会の方々、スポンサーに支えてもらって初めて自分の担いを全うできることと、祭りに参加する人や祭りを観覧する人の笑顔を作り出す裏方の喜びを知ることができました。

次に私を変えたのは、かつていい先輩たちとの出会いです。必要な時に適切なアドバイスをくれる先輩、JC歴が長いにもかかわらず率先して身体を動かす先輩、人を楽しく巻き込む先輩、大変な思いをしながらもその苦勞を表に出さず役職を演じる先輩、口にした目標を身を削ってでも必ず実現させる先輩、血肉となった言葉で人の心を熱くする先輩。自分もいつか先輩たちのように、誰かを良い方向へ導ける人間に成長したいと強く思うようになりました。そのためには、とにかく行動して自分だけの言葉を得なければならぬと、先輩の背中に教えていただきました。

もしこれらの影響がなければ卒業まで在籍していなかったかもしれませんし、ましてや理事長に挑戦しようとは思わなかったことでしょう。入会当初から決まっていたことなどひとつもなく、出会いや出来事は奇跡だと感じるものばかりです。自分探しだったJCは、私を変え、私のプライドとなりました。卒業しても生涯JEYCEEとして、この地域のために行動し続けます。

最後に現役の皆さんへ。61年目の十和田JCのタスキをあなたたちに託します。いつまでも見守っていますよ。

経 歴

平成22年3月4日入会
社会開発委員会委員
平成23年
お祭り委員会委員長
青森ブロックJAYCEEアカデミー
大学塾生
平成24年
事務局長
青森ブロック地域政策探究委員会
副委員長
平成25年
お祭り委員会委員
平成26年
副理兼社会創造室長
東北ゼミナール委員会委員
平成27年
理事長
南部州デザイン会議評議員
平成28年
直前理事長
アカデミー大学学長

笹 渕 峰 尚



経 歴

平成21年6月5日入会
特命委員会委員
平成22年
会員開発委員会委員
青森ブロックアカデミー大学塾生
平成23年
交流委員会委員長
平成24年
総務委員会委員
青森ブロックアカデミー大学塾生
平成25年
お祭り委員会副委員長
青森ブロック大会プロデュース
委員会委員
平成26年
総務委員会委員
JC運動発信委員会委員
平成27年
青少年育成委員会副委員長
青森ブロック輝く社会創造委員会
委員長
平成28年
副理兼拡大交流室長

卒業にあたり

平成21年6月入会後の7年間を振り返りますと、様々な思い出が蘇ります。北海道帯広市出身の私は入会当初、知り合いもまばらでアウェー感からか上手くメンバーと接することが出来ませんでした。しかし、気を使って話しかけてくれたメンバーもおり少しずつ歩み寄るよう心がけました。委員会へ参加する度に親睦も深まり色々な事業に参加する楽しさも感じました。それでもその当時は会員が集まり会議をすることは非効率だと思い当時の理事長だった泉理事長に「テレビ電話で会議すればいいんじゃないですか」と生意気な口を聞いたこともありました。しかし、その後、初めてロムの委員長を務めさせて頂いた時に委員会メンバーが集まって事業に対しての意見をいただき、その意見を議案書に盛り込んで理事会で協議する責任感のもと委員長経験をさせて頂いたことは、私にとって大きな収穫だったと感じております。

入会3年目でアカデミー大学の塾長を務めさせて頂いた時には青森ブロック会長や学長を初め各ロム理事長が優しく、塾生の皆様にも支えられたお陰で経験が浅く無知な私でも務めることが出来ました。「役職は人を育てる」と言います。現役メンバーには積極的に引受ける気概を身につけて頂きたいと思います。

平成26年度ブロック委員長予定者が12月入り諸事情により急遽、出向出来なくなり代わりに私が担当することとなりました。それからの3ヶ月間は胃もたれを伴うストレスに襲われました。自分一人では出来ない事を担当副会長や各ロム理事長などのご意見をいただきながら事業遂行のため必死で取組ませて頂きました。今にして思うと、あのストレスがなければ達成感は得られなかったと思えます。現役メンバーにはストレスと上手に付合って頂きたいと思います。

本年はロムの副理事長を担当させて頂き、委員長を盛り上げると共に委員会メンバーには、JC運動や委員会活動の楽しさを感じていただけるよう委員会運営に携わって参りました。しかし、一番楽しませて頂いたのは私自身だったかもしれません。現役メンバーには心より感謝しております。

晴れて卒業ということで軽やかな気持ちでおりますが、これで終わりだとは思っておりません。生涯JEYCEEとして私なりに出来ることを積極的に取組んで参りたいと思っております。

今後とも宜しくお願い致します。

田 中 孝 英



卒業にあたり

2008年入会以来、多くの方々に支えられあたたかく見守られ卒業する事ができます。

思い起こせば、入会前より青年会議所の存在はいつも十和田富士屋ホテル、グランドホールをご利用いただき、みんな元気で、会社からの出向という事で入会させていただく時も抵抗はなく、ワクワク、ドキドキで楽しみだった事を覚えています。卒業までのJC活動を通して、素晴らしい仲間と巡り会えた事、貴重な経験をさせていただきました。委員会としてはほとんどが総務委員会でしたが、理事として総務委員長を2年連続で経験させていただいた事は、会議の手法、人前での話すことの訓練、PC操作のスキルアップ等、学ばせていただきましたし、思いがあります。

思い起こせば、初理事 初委員長での初理事会の際、事業の説明も全くできず理事者からの質問攻め、時間も夜中2時30頃までかかり、メンバーの杉沢君にメールで「委員長無理だわぁ」とヘコみのメールを送りました。退会もちらついていましたが杉沢君からの返信で、もう少し頑張ってみようかと奮起し、委員長を務める事ができました。あの時は本当にありがとう。

2年目、続けて総務委員長は今だから言いますが……確か誰かに委員長頼まれる事もなく気づいたら委員長になっており、これがJCでよく聞く「はい喜んで」という意味なのかと恐怖を感じました（笑）多分、蛭澤康之先輩にはめられたと思います（笑）

でも、杉沢君からの返信メール、蛭澤先輩からの愛のムチがなければ2年連続総務委員長という経験はもちろん、JCも卒業せずに退会もしていたかもしれません。

その他にもさまざまな場面で、多くのメンバーに支えられ卒業を迎える事ができました。

そして、卒業するまで出向させていただきました会社に、見守ってくれた家族に感謝です。

私がこれから皆様にできる恩返しは、JCで経験した事を糧に、社会で奮起し、上を向いて日々頑張っていく事だと思っています。

本当に長い間ありがとうございました。

経 歴

平成20年2月7日入会
総務委員会委員
平成21年
総務委員会委員
青森ブロックアカデミー大学塾生
平成22年
総務情報委員会委員
平成23年
総務委員会副委員長
平成24年
総務委員会委員
平成25年
総務委員会委員長
平成26年
交流委員会委員
平成27年
事務局次長
青森ブロック輝くLOM支援委員会委員
平成28年
総務委員会委員

井 本 幸 佑



卒業にあたり

短いJC運動ではありましたが、皆様には公私ともに支えられ、無事終える事となりました。ありがとうございました。

経 歴

平成27年4月3日入会
平成28年
お祭り委員会
青森ブロックアカデミー大学塾生

舩 館 大 一



卒業によせて

思い返せば2005年6月にバッチをもらい私のJCライフはスタートしました。実を言うと当初十和田青年会議所という存在も知らずに、説明を受けてもいまいちわからず、何のための団体か理解せずに入ったような気がします。入会を決めた理由ははっきり言って絶対に入りたくないような団体だったから、この当時なんの代わり映えの無い毎日に嫌気がさして、どうにかならないのかとずっと悩んでおりました。自分にとって絶対に入りたくない団体というのは実に新鮮で、そこに飛び込めば一体どうなるだろうかと、何かが変わるのだろうかと実に天邪鬼な理由で入会を決めたのであります。後で聞いたら入会可能性Cランクであーやっぱりなど笑ったもんです。私の仕事は基本的につなぎを着てオイルと泥まみれになる仕事で、緊急の仕事も多いし時間作るのも難しい、言わばJCには向かないタイプでありました。それでも出来る限りはやってみようという姿勢だけは終始保ったつもりであります。それ故に仕事とJCは両立して然るべきだという思いが強く、理事会にてそういう提案を意見として常に述べて、理事長時代には仕組みとして様々なアイデアを取り入れました。しかしながら仕組みや方法をいじる程度では限界があり、結局のところ人であるという結論に達し理事者にはミッションとしてありがとうと1000回言うことを目標に一年間頑張ってくださいとお願いしました。最初の半生が自分のためのものならば、次の半生は人のためのもの。自分で出来る限界を知った時多くの方が自分のため支えていたことを知り、そこから人のために生きていく、そのつながりがさらに大きくなっていくことで青年から壮年へと成長していくもので、その過程の中に青年会議所があるのだと思います。11年半という長いJCライフの中で私は数多くの繋がりを築くことが出来ました、これは私にとってとてつもなく大きな財産となりました。代わり映えの無い毎日に悩んでいた青年は長い年月を経て笑い合える仲間がいっぱいの最高の人生の途中にいます。これからどのような物語が待っているのか？ワクワクしながら次の章に進みたいと思います。

今まで関わってくれたすべての人にありがとう！

経 歴

平成17年6月2日入会
交流委員会委員
平成18年
交流委員会副委員長
青森ブロックアカデミー大学塾生
平成19年
広報委員会委員長
平成20年
総務委員会委員長
平成21年
お祭り委員会委員長
平成22年
事務局長
青森ブロックJAYCEEアカデミー
大学運営幹事
平成23年
総務委員会委員
青森ブロック誇り高さあおもり
実践委員会委員長
平成24年
財政局長
LOM法人格移行支援委員会
委員長
平成25年
副理兼総務室長
平成26年
理事長
JC運動発信委員会評議員
平成27年
直前理事長
青森ブランド創造担当副会長
平成28年
総務委員会委員
JC運動発信委員会委員

宮内 拓也



経 歴

平成24年1月6日入会
交流委員会委員
平成26年
社会創造委員会委員
平成27年
青少年育成委員会委員長
平成28年
60周年記念委員会委員長
青森ブロック地域再興委員会委員

卒業にあたり

気が付けば2016年もあと1ヶ月、半月もあれば自分のJCライフも終わろうとしているのを考えると、何とも言えない気持ちになります。

思い起こしてみると私がこの十和田青年会議所と出会ったのは2011年の秋祭りでした。当時家族3人で官庁街を散策していると、秋祭りの運営をしている方々に出会い、その中にお仕事でもお世話になっている先輩が私に声をかけてきました。と思った次の瞬間JC入らねーか？正直なんの事を言っているのかさっぱり理解出来ないままその時は終わりました。

月日は立ちある日の事、地域貢献をしながら自分の能力を高める事が出来る団体があると聞いた私は無性にこの団体に興味が湧き活動をしてみたくてたまらなくなりました。

自分を変えていきたい。もっと自分の可能性を切り開きたいそう思い、門をたたく事となりました。そうそれこそがJCだったのです。私はその後、2012年の1月、この十和田青年会議所に入会をしました。

入会と同時に私はとてもショッキングな状況に出会います。それは、理事長をはじめとする副理事長、委員長そこにいる方々は大勢の前でも動揺することなく自分自身の伝えなければならない事を迷うことなく覇気を持ち発表していたからです。それに付け加え節度においても文句の付けどころが無いくらい素晴らしいと思ったのを覚えております。

自分とはとんでもないところに入ってしまった。その当時は心の奥底にそんな迷いと正直、後悔もありました。自分はやっていけるのであろうか？それからというもの毎日が修練の日々が始まりました。議案書作成において最も必要不可欠でもある、事業構築をするための資料作りです。元々、パソコンも資料作成も縁のない私でしたので益々、不安と動悸にかられたのを鮮明に覚えております。ですが、その当時は熱血でありながらとても心の優しい理事長や副理事長、そして委員長や委員の皆様に恵まれ、私は地域貢献と自己研鑽をする事の意義というものを教えられました。JCって素晴らしい。

それから1年諸事情により青年会議所を退会しましたが、その1年後もう一度JC活動をする運びとなり、この十和田青年会議所に戻ってきました。その時は、出戻りの私を快く迎え入れてくれたメンバーの皆様がおりました。その時は本当に心の底から涙が出たのを覚えております。

それからというもの、2014年にはお祭り委員会、2015年には青少年育成委員会、2016年には60周年記念委員会、青森ブロック出向と目まぐるしくも、苦勞なんて感じる暇がないほど、充実した日々の連続でした。その時間の中にあっただのは奉仕、修練、友情の3心情であり、事業構築において連日連夜会議と実働が重なり委員長が今にも倒れそうなきは委員長を微力ながら支え、逆に自分自身が倒れそうである時は倍返しで助けてもらい、お互いに磨き合いながら今日まで走り続けてきました。人って漢字は支えあっている事も。努力は自分だけではなく、周りの皆にも幸せを届ける事、嬉しい涙を流せる事、幸せを体いっぱいを感じる事が出来る事、本当に数えきれないほどの事を頂きました。

最後になりますが、これまでの4年間お付き合いを頂いた全ての皆様には感謝をしてもしきれないほどの感動や涙と経験を頂きました。みなさんに心の底の底からありがとうと言いたいです。

十和田青年会議所先輩諸氏の皆様、現役会員の皆様へ心から感謝をすると共に私をここまで育てて頂き本当にありがとうございました。

最後になりますが、皆様のご健康そしてご多幸を祈願致しまして、お礼の挨拶とさせていただきます。



一年間を振り返り

第60代理事長 水尻和幸

感謝と絆 ～思いやりで彩る魅力あふれる人と街へ～

「愛しい子ども達とこの街の為に感謝のこころとつながりの大切さを胸に抱き、誇りを持って行動しよう。美しくあたたかい夢と希望のあかりを灯せば明るい未来への道が見えてくる」

このスローガン、そして基本理念のもと2016年度多くのメンバーと共に精一杯青年会議所運動をさせていただきました。各室、委員会、局、そして全てのメンバーが各事業を展開し、そして2016年度を終了させていただきましたことに深く感謝申し上げます。

今年度は十和田青年会議所創立60周年という節目の年でもあり、今までこの当青年会議所へ支えていただいた地域の皆様へ恩返しをさせていただきたいという思いでスタートさせていただきました。そして私は今年度この「感謝と絆」というスローガンを掲げ、目的を達成する為にメンバーの皆様と作り上げていきたいものが大きく3つほどありました。まず一つ目は思いやりある「ひとづくり」でございました。この地域の子供達が将来に希望を持てるのは、私達大人がどんな背中を見せるのかに掛かっていると思います。大人がつながりを大切に、力を合わせ協力し目標に向かっていく姿を見せることにより、子供達にもつながろうということが芽生えてくるものだと思います。JCは積極的に人とつながり、この街の更なる発展の担い手となる人材として、率先して行動することで、夢と希望あふれる故郷を創造することができる、「ひとづくり」を、数々の運動を通じて多少なりともつくることのできたのではないかと考えております。

二つ目は思いやりある「まちづくり」でした。現在、時代の流れと共に地域が求めるものは多様化、高度化しており、私達はこの街に住んでいる人達と強い連帯感をもって市民主導型の地域づくりをもっともっとうまかななければならないと感じてきました。この街に生まれ、育ち、学び、働き、そして活動できることに感謝、そして誇りを持ちながら連携づくりを通じた新たなつながりができるような思いやりある「街づくり」をメンバーと共に議論しながら、微力ではありますが創出することができたのではないかと考えております。

三つ目は思いやりある「組織づくり」でございました。私達十和田JCはこの街の青年の代表として最高のチームとなってこの地域をけん引していかねばならない担い手があります。今年度はメンバーが成長する意気込みを持ち、若いメンバーへJCの魅力と、活動の意味合いを伝えることにより、組織全体が魅力あふれるものになったと考えております。これからも組織全体の魅力を地域全体に広めることで、会員拡大にもつなげ、時代の変化にも柔軟にかつ迅速に対応できるよう進化を続けるそして、「組織づくり」を次年度からも期待したいと思います。

10年前我々の先輩達は「共働そして新歩」というスローガンのもと、自らが自信をもってこの街を語る地域の魅力発信。自らができることを実践し大人と子供のネットワークを構築した地域共育。自らが 制度に関心を持ち、理解そして見極めることができる医療と福祉という提言を掲げていただきました。この提言の熱き思いを胸に抱き、近年、当青年会議所は新たな地域の魅力の発掘、発信。新たな大人と子どもと一緒に学ぶことができる青少年育成事業。新たな地域社会発展の為に事業、人材育成、会員拡大など多くの新たな事業を計画し、経験や学びを得ながら地域の皆様とともに運動をさせていただきました。そして我々は経験、学び得たことをさらに飛躍させる為に子ども達1人1人が夢と希望にあふれる青少年の育成。豊かな心で育み思いやりと誇りにあふれる地域社会の実現。地域から頼られ求められる魅力あふれる人材育成の実現。この3つのことを十和田青年会議所は10年間ビジョンとして、そして「感謝そして勇進」という新たなスローガンを「十和田青年会議所創立60周年記念式典」にて掲げさせていただきました。今後感謝の心とつながりの大切さを胸に抱き、自分自身も一歩ずつ確実に勇気を持って前進していきながら、我が街十和田市、そして十和田青年会議所の発展の為に尽くす所存でございます。

理事長職というのを個人的振り返りますと、本当に感謝と絆を心から感じる事ができる一年でございました。まず家族に対しては本当に辛い思いをさせてしまうことが多々ありましたが、嫁と子ども達が私がいなくても頑張って生活をフォローしてくれました。そして会社に対しては社員の皆様が私がいなくても、いないなりに考え、自ら行動してくれて我が施設を守ってくれました。理事長職を全うさせてくれた家族、社員の皆様には大変感謝しております。

ちなみに私は理事長在職中の九月に東北地区協議会の宮城県登米市で行われた東北青年フォーラムの懇親会のアトラクションの理事長対決腕相撲で青森県代表で全力で挑んだ結果、右腕を複雑骨折し、緊急入院、手術するという最悪な事態になり、メンバー、関係者の皆様そして会社、家族には一か月近く穴をあけてしまい大変なご心配とご迷惑をかけてしまいました。特に十和田青年会議所のメイン公益事業でもあります十和田市秋まつり「中日お祭り広場」を欠席するという前代未聞の事態を招いてしまいました。しかし副理事長、専務を初めとする全てのメンバーが理事長不在でも事業を特に問題無く理事長に変わって遂行していただき、無事終了することができました。私が不在の間LOMを支えてくれたメンバー全ての皆様に感謝したいと思います。

今年度は理事長として青森ブロック協議会、京都会議、サマコン、全国大会、その他団体の協議会へ参加させていただき素晴らしい出会い、経験をさせていただき本当に満足していただきました。この一年間理事長でしか経験することができない苦労も多くありましたが、喜びや発見も多くありましたので本当に満足しております。どうもありがとうございました。

今年度の私が一番の思い出に残る事業は6月例会の青少年育成事業「感謝～あたりまえの幸せ～」渡部陽一氏講演会でした。今を生きる私達、そして同じこの地球に生まれた私達 1人1人お父さんお母さんからもらったかけがえのない大切な命をもっていますが、渡部陽一氏が体験されてきたお話、そして命がけで撮ってくれた写真で世界を見ると、まだまだ紛争が多く、多くの人達が尊い命を落としている現実が大変悲しい気持ちになりました。その中、私達が住む日本は戦争も無く、何も不自由ない豊かな社会であたりまえの生活を送っています。これは先祖の人達が、今を生きる私たちへ平和で幸せに暮らせるように願い、がんばってしてくれたからだと思います。なので私はまず先祖の人たちへ感謝の意を唱えたいと考えております。私達は長い人生において、当たり前、生活、そして大切な人、何の前触れも無く突然失ってからは、初めてそのありがたさに気付くことがあると思います。不満を言えるほど幸せな環境の中にいること、そして少し視線を変えただけに見える景色が変わるかもしれないことを大切なあたりまえ を失う前に気付いていかなければなりません。私たちはいつもたくさんの幸せに囲まれ、そして小さくても幸せは自分の心の中にあります。もし自分、まわりの方で、今幸せではないと感じているなら、是非視点を変え、目の前にある、何でもないことに幸せを見出してほしいとエールを送りたいと思います。私達は手と手をつないでいけば、悲しみも憎しみも喜びもきっと誰かとわかちあっていると信じています。いろいろな人に支えられて自分の命・生きる・そしてあたりまえの幸せはあるんだと思いました。これからも私達はあたりまえの幸せを未来の人達にも感じてもらえるよう感謝の心と絆の大切さを胸に抱き頑張っていこうと思えました。

結びとなりますが、青年会議所には、「奉仕・修練・友情」という三信条があります。たくさんの活動の機会から、出会い、経験、学びが多くあり、自分の価値観を変え、過去と他人を変えることはできませんが、自分と未来を変えることができる大変素晴らしい団体であると考えております。明るい豊かな社会を築く為にそしてこの地域がもっともっと元気になる為に、私は地域の大人として、社会を支える青年経済人として、英知と勇気と情熱をもって、感謝と絆、利他の精神、優しさと思いやりの心で、愛しい子供達とこの街の為にあかりを灯し、未来への明るい道をこれから先も邁進して所存でございます。

一年間支えていただき本当にありがとうございました。深く感謝、お礼申し上げます。



一年を振り返って

専務理事 小 関 教 仁

皆様、今年も一年間大変お疲れ様でございました。

今年度、水尻理事長のもと、専務理事という重要な役割を務めさせていただきました。

昨年末、水尻理事長より専務理事として熱いオファーをいただきまして、私の浅いJC経験では務まる自信がなく、お断りしようと考えておりましたが、水尻理事長の熱意と自分の挑戦心により、専務理事を務めさせていただくこととなりました。私はお祭り委員会の活動を中心に青年会議所活動を進めて参りましたので、私自身初の事務局専務理事、しかも今年は60周年記念式典開催ということで無我夢中で一年間を駆け抜けて参りました。

理事会、常任理事会、例会セレモニーの開催、各委員会の事業計画書のチェック、渉外活動の取りまとめ等々、全てが初めての経験で本当に多くの学びがあり、入会から4年目にしようやく青年会議所というものを理解した年となり、私自身大きく成長することが出来たと思います。私は2017年度理事長に立候補させていただきましたが、この専務理事の経験がなければ、立候補に至らなかったと思います。それくらい実りの多い充実した一年間となり専務理事という役職を引き受けて本当に良かったと思っております。しかしながら専務業がしっかりと機能していたかと自分に問いただせば答えはNOです。至らない点が本当に多くあったと思いますが、事務局の仲間をはじめ、本当に多くの方々を支えられてきた専務業でございました。

この経験を踏まえ、私が他のメンバーに伝えたいことは、JC活動においては挑戦心が必要だということです。苦しい辛いことを乗り越えてこそ成長が得られると昨年のお祭り委員長の時も思いましたが、今年は更にそう感じた年でした。自分の成長のために挑戦心を持ち未開の地へ踏み出す勇気をもって今後のJC活動の道を切り開き、個々の成長へと繋げてほしいと思います。そしてこの十和田青年会議所が65周年、70周年へ向けて益々発展していくことを切にご祈念申し上げまして、私の一年間のご報告とさせていただきます。皆様、一年間本当にありがとうございました。



直前理事長そしてアカデミー大学学長としての一年間

直前理事長 蛭 沢 達 彦

2016年度はLOMでは直前理事長、ブロックではアカデミー大学学長兼副会長の担いをいただき、それぞれの役職を一年間演じました。もちろん、どちらの役職も初めてのものでしたが、そこから得られた学びもまた初めてのものばかりでした。一年間、これまでと同様に多くの喜怒哀楽があり、ラストイヤーは楽で平穏な時を過ごそうという私の思惑はどこへやら・・・しっちゃかめっちゃかの状況の中、一生忘れられない時を過ごし、いまは終えられることに安堵の気持ちでいっぱいです。

直前理事長としては、理事長のサポートやLOM運営を俯瞰して見ることを心がけました。理事長を終えた直後ということでいろいろと口を出したくなりましたが、それでは人が育たないと思い、求められるまで待ち続ける我慢の日々でした。何事も思い立ったらすぐ行動する！という、私の信念を抑えなければならず、とても苦労しました。また自分のシンプルでかつ適切なアドバイスで人を導かなければならない難しさも感じました。

アカデミー大学学長としては、スタッフである塾長、総括幹事、運営幹事に軸となるテーマをもとに行動してもらい、83名の塾生に一生に一度しかない学びの機会を与える総責任者を担当しました。これまでの偉大な歴代学長に一步でも近づこうともがき、そのたびに打ちのめされた一年間であったと言えます。出席率100%を達成すると豪語したにもかかわらず毎回低い出席率で心が折れそうになり、さらに他LOMのスタッフを指導しまとめる難しさを初めて味わいました。私にもっとカリスマ性や強烈な個性が備わっていたら、もしかしたら違った結果になったのかも何度も悔やみました。けれど仲間とひとつの目標に向かい、それぞれがいまできることをするなかで生まれる一体感や友情は格別なものでした。これも同じLOMから出向した中谷総括幹事が一年間様々な面で支えてくれたからで、お陰で最後まで学長を演じ切ることができたと思っています。とても心強かったです。

40歳で再び自分の無力さを知り、けれど無力だから気づけたこともありました。今年度も終える時期になりやっと思うことができました。「JCっていいな～」っと。この機会を与えてくれた目に見えない運命と、ともに行動してくれたLOM、ブロックのメンバーに感謝しております。ありがとうございました。この一年間も私にとって一生の財産です。



4つの大きな事業をやり遂げた室メンバー

副理事長 太田 格 道

水尻理事長に恩返しをしたい。私は彼よりもJC歴が長く葛藤のあった私は、公益系の事業を問題なく終わらせることが事務局に負担を掛けないことだと考えた。しかし、考えが甘かった。お祭り・職業体験と60周年事業・記念誌の4事業総額600万の予算、例年の年間事業費を超える額を室で受け持つこととなる。プラスに考えたとして、室を合体させ完遂できれば委員は何倍ものJC力がつくという自信があった。しかしそれは、委員の家族や会社からすれば大きな負担であり、私のエゴでしかなかったが、蓋を開けると私は信じられない光景を見ることとなる。

中野・宮内両委員長を成長させようと思った私は二人の輝きに驚き、逆に学ぶことが多々あった。中野委員長は凄かった。お祭りを満点でやるのは不可能だと思っていたが、彼はそれを実行した。平気な顔で他事業も多く実行しながら、お祭りは本当にコツコツと進めていた。私もお祭り委員長経験者だが比較すると完敗だと思えた。宮内委員長は最強のJCマンだと思う。理事長をやって欲しかったし宮内さんの下で頑張ってみたかった。3年間私は宮内さんの上でやらせてもらいアドバイスをする側だったのがいつの間にか共闘し、見えない敵と二人で夜中まで戦った戦友であり最後は立ち振る舞いなどに尊敬を覚えた。そしてこの二人が輝いたのは委員長自身だけ頑張ったのではなく室の皆に指示し、共に実行し大活躍してもらったからに他ならない。

米内山委員は新人なのにウマジンの事業を全て担当し大活躍。新たな風と、企画力・実行力を持っていた。山内副委員長は職業体験の総責任者に、最後に本人が感涙できた素晴らしい事業となった。子供達への情熱・熱意と深い優しさを持っていた。杉沢副委員長は影の副理事長ということで私のよき相談相手であり私は彼がいたから倒れてもなんとかかなと思えた。皆から頼りにされる安心感と明確な頭脳を持っていた。栗山副委員長は中野委員長の完璧なる右腕、競演会の責任者となり、驚く程完璧な副委員長を遂行した。人を動かす力、人を魅了する力を持っていた。

室全員が各事業に担当を何個も持っており室幹部会議では全て同時進行3日に1回会議をし、小会議もそれぞれで行っていた。わかる人にはわかる大変なことである。

私はこの6人の幹部を尊敬し、日々学んだ。そして家族だと思えた。60周年記念式典で市長挨拶の時にウマジン・お祭り中日・職業体験と細かく室の事業を称賛した内容を来賓の前で挨拶をされた時、泣きそうになった。皆年上だが、自分の息子が褒められた感覚になった。私はこの時JCって家族だなあと感じられた、これはもしかしたら自分自身の真の目標だったのかなと思った。こんな風に感じられたのは紛れもなく幹部のみんなと苦しんで泣いて笑った1年を全力で走ったからだ。私にとって何にも変えられない宝物となった。心の底から感謝しています。



一年を振り返って

副理事長 丸 井 香 織

皆さま一年間大変おつかれさまでした。

2016年度は、人材育成室副理事長兼室長という立場で一年間活動をさせて頂きました。

創立60周年を迎え、60周年記念事業や式典があるなか、理事長を補佐する役割の副理事長という役に私に務まるのか不安ではありましたが、幸いにも、そのような場面は少なく、申し訳ないことに、自身の能力不足や努力の不足を激務である理事長、専務に支えて頂くという一年となってしまいました。

今年度は人材育成担当ということで、研修系の事業を多く担当させて頂きましたが、特に印象に残っているのが、4月に『ビジネスを飛躍させる「食事」のとり方』を開催させたことです。阿部委員長の「すべては健康であってこそ、若い世代の方たちにも、もっと健康であることに対して意識を向けて欲しい」という強い想いを形にすべく、どのような切り口であれば若い方や、今まで「健康」ということにあまり意識を向けていなかった方に興味を持って頂けるか、委員会で何度も集まり、皆で頭から湯気が出るほど考えました。当日はほぼ満席、回収したアンケートの結果を見ても、参加された方々に委員長の想いが伝わったのだなど、とても嬉しい気持ちになったことが思い出されます。

阿部委員長は、バツグン先見力で委員会メンバーを牽引して下さいました。なかなか時間が取れない時期でも、また、議案作成等への指示やアドバイスが足りない場合であっても、いつもミスや不足の少ない資料を作成し、どうしたら最善の結果となるか、委員会メンバーが動きやすいかを考え続けて下さいました。さらに、理事会ではバツグンのプレゼン力で理事者の皆を納得させ、とても入会2年目とは思えないほどでした。そのため、ほとんど委員長へお任せする形となり、阿部委員長へはいろいろな意味で頭が下がる思いでいっぱいです。

副理事長、室長という役割をできたのかということ、反省点ばかりが残る結果となってしまいましたが、今年度も大変貴重な経験をさせて頂きました。この反省点は次年度以降の活動に活かしてまいります。

最後になりますが、本年度一年間関わって下さいました理事長をはじめとするメンバーの皆さま、共に一年間頑張ってもらいました人材育成委員会の皆さまに心より感謝を申し上げ一年間のお礼とさせて頂きます。本当にありがとうございます。



一年を振り返って

副理事長 笹 渕 峰 尚

本年度は拡大交流委員会副理事長兼室長として活動させていただきました。齊下了介委員長、田中泰郎副委員長のやる気を引き出すにはどうしたら良いかという点に重きを置いて委員会運営に携わらせていただきました。

2015年は15名の会員拡大目標に対し21名が入会、ゴールドゴングを獲得するという快挙を遂げた年でした。その勢いのもと2016年の会員拡大は60周年記念式典・祝賀会を60人で迎えようという目標を立て取組んで参りました。

入会対象者に入会してもらうにはメンバーが楽しくJC運動を行なっている必要があると考え委員会を楽しく行うことを心がけておりました。

そのためか委員会メンバーの委員会出席率はいつも60%以上ありました。委員会は早めに切り上げ懇親会に注力したためだったのか今年の入会者は5名と目標達成にはほど遠い結果となりました。しかし、この結果に対しそれほど悲観的な感じはありません。それは会員拡大よりも大切なのは新入会員が脱会しないことだと思っていたからです。そうならないためには新入会員にJCの楽しさを実感してもらわなくてはならないと考え委員会のみならず事業構築の際にもその要素を盛り込みました。

11月20日の例会ではパークゴルフ交流会を行いました。北風が吹きさす中、冗談などを言い合い笑いながらプレーする事で得た思い出や関係性は今後の活動に生きてくると感じました。その後、11月30日にはボウリング交流会を行いオブザーバーとメンバーとの親睦を深める事業になったと思います。

一年を通し結果的には会員拡大での目標達成は出来ませんでした。各事業後のメンバーから「楽しかった」という声を頂けたことを嬉しく思っております。

今年度と次年度を合わせると多くの会員が卒業し必然的な会員減少に陥ることは明白です。当会議所存続にはメンバー各々が楽しくJCライフを過ごすと共に会員拡大を行なっていく必要があります。

本年度で卒業となりますが、これまで関わりのあった多くの方々への感謝と当会議所が益々発展されますことを祈念しご挨拶に変えさせていただきます。ありがとうございました。



2016年を振り返って

副理事長 国 分 聡

副理事長兼総務室長 高橋慶多君。

この原稿を書いているのはその高橋君であるはずでした。仕事の都合によりJCを続けられないため、代わりに私が副理事長を務めることになるというとき、その重責を感じるより先に寂しさを感じたことを昨日のように覚えております。しかし、日ごとに副理事長という役割や職責の重さを、自分のようなキャリアも能力も不足している者がブロック委員長を兼任しながら背負い込めるのだろうかという不安に押し潰されそうになっていきました。そんなプレッシャーの中、私の決意を固めてくれたのもまた、高橋君でした。彼のこれまでのJCにおける功績は多大なものでした。そんな彼が志半ばでJC活動を諦めざるを得ない悔しさや、苦楽を共にした仲間と離れる寂しさを堪えて、私の背中を優しく押してくれたおかげで、何が何でもやり切ってやろうという強い気持ちの方に振り切れたのだらうと感じております。この場を借りて、改めて高橋君に感謝の気持ちを表します。

さて、本年度の総務委員会の活動に目を移すと、10月に行われた創立60周年記念式典がもっとも大きな担いの一つでありました。私自身が周年式典を経験していないのはもちろんのこと、下川原委員長、似鳥副委員長という2年目コンビを中心とする委員会メンバーと共にこの大きな山を越えられるのだろうか？という不安もありましたが、委員長以下メンバー丸となって必死に取り組む姿を目の当たりにして、私自身が「事業の成功」という狭い視野での目標にとらわれていたのだなと気づかされました。委員長として委員会を運営していく難しさとは違った難しさを、副理事長という役職を通じて味わえたものと思っております。また、下川原委員長においては、日を追うごとに委員長としての技量や責任感増していく姿を目の当たりにして、とても頼もしく、そして嬉しく感じました。似鳥副委員長は、持ち前の明るさとひたむきさで委員長を支え、委員会運営にはなくてはならない存在にまでなりました。江渡尚靖委員、小笠原大地委員、田中孝英委員も、お忙しい中担当事業や委員会開催の際にはご参加いただき、また、参加できない時であってもいつもお気遣いの声を掛けていただき、いつも感謝しておりました。事業の内容よりも成熟度が問われがちな総務委員会という中であって最後まで楽しく一年間を過ごせたのも、下川原委員長はじめ委員会メンバー全員の意識の高さや素晴らしい笑顔に囲まれたおかげであったと思っております。1年間お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

最後になりますが、皆様方からのご支援・ご厚情への御礼と、今後益々のご健康・ご多幸をお祈り申し上げ、2016年度を締め括るご挨拶とさせていただきます。1年間大変ありがとうございました。



一年を振り返って

お祭り委員会委員長 中野 隆 生

2016年、十和田青年会議所が60周年を迎える年に十和田青年会議所最大の事業であるお祭り委員会の委員長を務めさせて頂きました。今年のお祭り委員会は公益事業を2つ開催しました。青少年育成事業として小学生5, 6年生を対象とした職業体験事業。文化推進事業として第46回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」。今年は60周年記念委員会と協力していく体制を作りお祭り兼60周年記念室として活動しました。職業体験事業と致しましては昨年の12月から構想を練り夜遅くまで室で議論をして万全な状態で事業迎える事が出来ました。保護者皆様から大変良い好評を頂きました。地域の子供達将来に向けての夢や希望を与える事が出来たのではないかと考えております。

そして中日「お祭り広場」の開催にあたりまして、歴史があり代々先輩の方々から受け継いできたこの事業を自分が本当に担当をして大丈夫なのと不安がありました。今年60周年を迎える事に対してどのような企画をしていくか大いに悩みました。室のメンバーや外部の団体からのアイデアを頂きまして60周年記念企画と致しましてよさこいチーム4団体によるウマジン創作演舞、十和田囃子競演会が10日目の節目となる為、囃子指導者による十和田囃子合同演奏会の実施、競演会に於いては優勝旗を作る事が出来ました。夜間運行コンテストではオリジナリティーを出した表彰看板製作して参加団体からは良い評価を頂きました。早い段階で計画をし、お祭り関係団体、参加団体、協力団体との会議を繰り返した、室のメンバーを始めとして十和田青年会議所のメンバーの皆様を支えられながらお祭りを開催することが出来ました。お祭り当日は大きな事故やケガ、トラブルもなく無事に終える事が出来ました。十和田の文化芸術に触れる事ができ、自分の故郷の素晴らしさや地域の人が集まる場を築く事で絆が生まれ思いやりで彩る、魅力あふれる人と街へと繋ぐ事が出来たと自覚しております。

最後になりますがお祭り委員会で企画した2つの事業にご協力して頂きました関係者の皆様、十和田青年会議所の先輩の方々、現役メンバーの皆様深く感謝を申し上げましてご挨拶とさせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。



1年を終えて

60周年記念委員長 宮内 拓也

毎年の事とはいえ気が付けばもう原稿を書く時期が来たのかと感じる今日この頃であり少しだけ寂しくなる時期でもあります。思い返せば私達60周年記念委員会にとっての2016年も立ち止まっている時間すら無いような一年でもありましたが、心の底から充実した1年だったと感じる1年でもあったと思えます。

私達は、公益社団法人十和田青年会議所の60年の歩みと共に青少年の明るい未来を創るため、この1年間運動をして参りましたが、青年会議所の本質は何なのか、何のために青年会議所が存在するのかを常に問われながら運動をしてきた様な気が致します。

私達一人一人は地域における企業の集合体ではありますが、育ってきた環境も違えば、考え方も違って違ふ、勿論それぞれ個性もあり知識や得意分野も違います。ですがその個性の違うそれぞれの人間が一つの与えられた環境の中で、私達が住む地域や日本を少しでも良い方向に変えようと努力し様々な形態をもって行動をおこしていきます。たとえそれが上手く出来なくてもがむしゃらに前進あるのみなのです。

本年度は十和田青年会議所も還暦にあたる創立60年となりましたが、これに伴い、60周年記念事業、60周年記念誌の作成を行いました。その名の通り内容の構築から実行に至るまで一筋縄ではいくはずもありません。上手く事が運ぶ時もあれば、時には行き詰る事もあります。この二つの事業は目の前に大きく聳え立つ大きな頂きのようにも感じましたし平坦な道は一つも無かったような気がします。

ですがこの60周年記念委員会には杉沢副委員長、相内副委員長、米内山委員、高崎委員という熱いメンバーがおりまして、それだけではなく私達の委員会はお祭り委員会とも同室であり、兄弟委員会でもありました。お互いが、お互いを思い、苦しそうな時は手を差し伸べる。一人が追い付けずにいる時は誰かが手を引っ張り助ける事で、委員会の絆はより繋がっていました。私自身も楽しい時だけではなく、苦しい時や悲しい時も沢山ありましたが、そんな時こそ委員会メンバーを始め同室の皆様はそっと手を差し伸べてくれていましたし、私の手を離さずにいてくれた御蔭で私も1年のここまで来ることが出来ております。

この一年を通して、60周年委員会で活動をして参りましたが、委員会メンバーの皆様そして同室のお祭り委員会の皆様には人の気持ちを想うという事、人間としての温かさや厳しさを感じる事がいかに幸せなのかを教えられた1年でありました。

最後になりますが、公益社団法人十和田青年会議所先輩諸氏の皆様、太田副理事長をはじめとするお祭り兼60周年記念室の皆様、十和田青年会議所メンバーの皆様へ深く感謝を致します。一年間本当にありがとうございました。



1年を振り返って

総務委員長 下川原 勝 義

2016年度は総務委員長として、様々な事業の運営を担当してきました。最初に委員長の話を頂いた時は、会議所のシステムも良く知らないまま、深く考えないで引き受けてしまいました。予備知識ゼロのまま委員長になった私には大変高いハードルでした。

今年度の総務委員会は新年祝賀会から始まり、特別会員通信の作成、7月臨時総会、記念式典、卒業式の担当をしました。新年祝賀会では議案書作成から始まりましたが、最初は何から手をつければ良いのか解らないので、過去の議案書との違いを見比べたりしているだけで随分と時間が経っていたような気がしました。新年祝賀会は大きな失敗も無く終わる事が出来ましたが、7月臨時総会は準備不足や連絡不足等が重なり失敗続きとなりました。その教訓を糧に臨んだ創立60周年式典ですが、小さなミスはあったものの時間の遅れも殆ど無く進んでいた時に一斉に鳴り響いた緊急地震速報が何よりも記憶に残っています。今回改めて1年を振り返ってみると、あの瞬間が今年度の事業で一番の大事件だったと思いました。その後は十和田青年会議所59年の歩み、60周年記念事業発表、感謝状贈呈をタイムスケジュールの遅れはあったものの、出席された皆様に無事に届ける事が出来て良かったと思いました。

卒業式では、PVに使用する写真集めを、沢山ある中から探さなくてはいけません。これは良いと思ってもピントが合っていないかたり、小さく写っていたり、似たような構図になってしまったりと選ぶのが大変でした。

早いもので新年祝賀会の準備を始めてからもう一年以上が過ぎてしまいました。最初の頃は本当に上手くやっていたのか心配でした。ですが無事にこの1年を終られたのも副理事長を始めとするメンバーの皆さんの助けや、特別会員の皆様のご指摘があったからだと思えます。終わった後に見えてくる事もあると思えますので、この経験を生かして次に繋げて行きたいと思えます。この度は1年間本当にありがとうございました。



一年を振り返って

拡大交流委員長 齊 下 了 介

今年度拡大交流委員会委員長を仰せつかりました齊下と申します。今年度我々拡大交流委員会は3月例会（青年交流会）から始まり様々な事業をさせていただきました。まずもってメンバー皆様には大変ご協力をいただき本当に感謝しております。ありがとうございます。3月例会（青年交流会）につきましては、20名以上のオブザーバーに参加していただき、十和田JCメンバー全員が熱い情熱で十分PRできた場であったと思っております。そのお陰を持ちまして今年度5名の新入会員を迎えることができました。本当にメンバー皆様の力は底知れないと実感した日でした。6月には、わんぱく相撲全国大会十和田場所を開催し、小学生15名という今までにない参加人数となり、相撲という日本の伝統文化を沢山の人に伝えることができたと思っております。7月の全国大会（両国国技館）では3名の小学生が十和田市から参加させていただきました。本当に沢山の感動をいただきました。10月には60周年記念式典の懇親会を担当させていただきました。石川理事はじめとする拡大交流委員会、人材育成委員会の合同メンバーとして力を合わせ、参加いただきました沢山の皆様に日々の感謝と十和田JC益々の発展に向けての力を見せることができたと思っております。これも日々十和田JCを支えていただいている特別会員の皆様、来訪JCの皆様のお陰だと思っております。本当にありがとうございました。11月には2つの事業をすることになっており、11月例会では寒い中ではありましたが、誰でも参加ができる会員間交流パークゴルフを開催させていただきました。沢山のメンバーと密に話すことができ普段話さないようなことまで話すことができるのは、少人数グループでのゴルフ特有のマジックなのかもしれません。もう一つの事業はオブザーバーも含めた青年交流ボウリング大会でしたが、お忙しい中にも関わらず沢山のメンバーが参加していただき、沢山のオブザーバーにも声掛けをしていただいたこと本当に感謝しております。残念ながらオブザーバーの参加率は非常に少なかったですが、懇親会からの参加で来られたオブザーバーもいて非常に有意義な時間を過ごすことができました。来年度も皆様からの新入会員情報をどしどし頂きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。今年度一年間大変ありがとうございました。



一年を振り返って

人材育成委員長 阿倍 拓 臣

今年度は青年会議所に入会し二年目で人材育成委員会委員長という役職を頂き、ありがたい気持ちとやりがいを感じながらも責務を全う出来るか不安な一年となりました。まだまだ分からない事も多い中で人材育成という組織を強化する上で重要な事業を行う事が出来るのか不安でしたが、委員会メンバーを始めとする多くの方に助けられ何とか一年を終えることが出来ました。

今までは参加するだけであった例会や事業も、委員長として事業を立案し運営する側になると全く違ったものになり、運営の大変さやメンバーの協力のありがたさを身をもって体験しました。どの事業も大変ではありましたが、今までは経験出来なかった事ばかりでこの一年で大きく成長出来たと感じています。

4月例会は自分にとって初めての事業でしたが、委員会の担当する事業の中でも最も規模が大きく、外部の方も招いての開催であったためかなりのプレッシャーを感じました。最初はセミナーを開催するという事は、講師の方を招いて講義してもらっただけと軽く考えてしまっていました。しかし実際に行ってみると講師への依頼から始まり、講義内容の打ち合わせや会場準備、人集め等様々な事を行わなくてはならず自分の考えの甘さを反省するばかりでした。最終的に目標人数には僅かに達しませんでした。成功と言って良い結果で終わることが出来て安堵すると共に、人集めに関してはメンバーの方々の協力がかなり大きく大変感謝しております。このメンバー同士の絆やつながりを感じれた事、そして今度は自分が返していく番だと思えた事が青年会議所に所属して一番の学びであったかもしれません。

そして事業だけではなく、委員会の運営を通じて学ぶ事が多くありました。仕事とは違いボランティアに近い形での組織において、積極的に参加してもらえる様にする難しさ、そしてその中で人を使うという事の大変さを痛感しました。辛いこともありましたが、今後仕事で経営する立場になった時に必ず役立つ貴重な経験を出来たと思っています。

この一年の中で多くの迷惑もかけてしまいました。しかし、その度にアドバイスを頂き、励まして頂いたおかげで今年度を何とか終えることが出来ました。委員長という立場で学んだ事、そして受けた恩を返せるよう、今後の活動を邁進して行きたいと思っています。



一年を振り返って

出向理事 石川 隆 大

本年度は皆さんの応援に支えられて、日本青年会議所へ全国大会運営会議の委員として出向をさせて頂きました。6つの川の流れる「水の都」広島はオバマ大統領の来日、広島カープ優勝と今年は日本で最も注目度の高いスポットとなっており、当然の如く現地で出会う人々のボルテージは常に最高潮でした。そして、私の心に響いたのは、広島青年会議所理事長のスピーチの内容でした。原爆のこと、オバマ大統領のこと、自分たち広島の一市民の声は気持ちは、正確にメディアで流れることはなく、必ず何らかの思想によって歪められて広まってしまっているというお話でした。自分たちの時間は止まってなどおらず、前向きに進もうと考えているのだと、『百聞は一見に如かず』子供の頃から聞きなれたこの言葉の意味、旅をする意義をひしひしと感じさせられました。インターネットの普及率が高まった現代では情報は溢れかえっていますが、本当に自分が「知る」には「インターネットを捨てよ、旅へ出よう」なのかもしれません。

私は昨年春に東京から十和田市に戻ってまいりました。18年ぶりの故郷で結婚式を挙げ、今年は春には長男が生まれました。私と妻と息子の新生活は両親に支えられ、仕事は社員のみんなに支えられ、十和田青年会議所の仲間にはいきなり登場した私を快く受け入れて頂き、何とか根を下ろし始める事ができてきたように感じています。そして、支えられている立場もわきまえず、十和田市の未来についても少しずつ考えるようになってきました。私の学生時代からだいぶ様変わりした十和田市はみんなの試行錯誤が形作ったものだと思います。私もその連続の中に入り、精一杯に生きてゆきたいと考えます。本年度も本当にありがとうございました。